潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國 107 年及 106 年第二季

（股票代碼 2597）

公司地址：台北市八德路二段 308 號 10 樓

電　　話：(02)8161-9999

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

民國107年及106年第二季合併財務報告暨會計師核閱報告

目　　錄

項　　目	頁　次
一、 封面	1
二、 目錄	2 ~ 3
三、 會計師核閱報告	4 ~ 5
四、 合併資產負債表	6 ~ 7
五、 合併綜合損益表	8 ~ 9
六、 合併權益變動表	10
七、 合併現金流量表	11 ~ 12
八、 合併財務報表附註	13 ~ 64
(一) 公司沿革	13
(二) 通過財報之日期及程序	13
(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	13 ~ 16
(四) 重大會計政策之彙總說明	17 ~ 22
(五) 重大會計判斷、假設及估計不確定性之主要來源	22
(六) 重要會計項目之說明	22 ~ 43
(七) 關係人交易	43 ~ 47
(八) 質押之資產	47
(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	47

項　　目	頁　　次

(十)　重大之災害損失	47
(十一)重大之期後事項	48
(十二)其他	48 ~ 62
(十三)附註揭露事項	63
1. 重大交易事項相關資訊	63
2. 轉投資事業相關資訊	63
3. 大陸投資資訊	63
(十四)部門資訊	64

pwc 資誠

會計師核閱報告

(107)財審報字第 18001234 號

潤弘精密工程事業股份有限公司　公鑒：

前言

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司民國 107 年及 106 年 6 月 30 日之合併資產負債表，民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併權益變動表、合併現金流量表，以及合併財務報表附註(包括重大會計政策彙總)，業經本會計師核閱竣事。依「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範圍

除保留結論之基礎段所述者外，本會計師係依照審計準則公報第六十五號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢(主要向負責財務與會計事務之人員查詢)、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

保留結論之基礎

如合併財務報表附註四(三)所述，列入上開合併財務報表之非重要子公司之同期間財務報表未經會計師核閱，其民國 107 年及 106 年 6 月 30 日之資產總額分別為新台幣 238,649 仟元及新台幣 334,659 仟元，分別占合併資產總額之 2.38%及 3.49%；負債總額分別為新台幣 67,693 仟元及新台幣 201,088 仟元，分別占合併負債總額之 1.48%及 4.17%；其民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之綜合損益總額分別為新台幣 3,844 仟元、新台幣 3,844 仟元、新台幣 7,670 仟元及新台幣 7,356 仟元，分別占合併綜合損益絕對值之 0.99%、99.92%、1.17%及 10.76%。

資誠聯合會計師事務所　PricewaterhouseCoopers, Taiwan
11012 臺北市信義區基隆路一段 333 號 27 樓
27F, No. 333, Sec. 1, Keelung Rd., Xinyi Dist., Taipei 11012, Taiwan
T: +886 (2) 2729 6666, F:+ 886 (2) 2729 6686, www.pwc.tw

pwc 資誠

保留結論

依本會計師核閱結果，除保留結論之基礎段所述非重要子公司之財務報表倘經會計師核閱，對合併財務報表可能有所調整之影響外，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製，致無法允當表達潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司民國 107 年及 106 年 6 月 30 日之合併財務狀況，民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日、民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併財務績效，暨民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併現金流量之情事。

資 誠 聯 合 會 計 師 事 務 所

會計師 王照明 王照明

會計師 徐明釧 徐明釧

前財政部證券管理委員會
核准簽證文號：(85)台財證(六)第 65945 號
金融監督管理委員會
核准簽證文號：金管證審字第 1050029449 號

中 華 民 國 1 0 7 年 8 月 1 3 日

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國107年6月30日及民國106年12月31日、6月30日

（民國107年及106年6月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	資產	附註	107年6月30日 金額	%	106年12月31日 金額	%	106年6月30日 金額	%
	流動資產							
1100	現金及約當現金	六(一)	$ 713,154	7	$ 394,258	4	$ 741,700	8
1140	合約資產－流動	六(十八)及七	366,002	4	-	-	-	-
1150	應收票據淨額	六(二)及十二(五)	234,559	2	166,086	2	145,927	2
1160	應收票據－關係人淨額	七	80,198	1	53,665	1	3,823	-
1170	應收帳款淨額	六(二)及十二(五)	769,314	8	894,855	10	919,791	10
1180	應收帳款－關係人淨額	七	165,846	2	333,018	4	469,090	5
1190	應收建造合約款	七及十二(六)	-	-	480,625	5	518,695	5
1200	其他應收款		3,000	-	4,386	-	5,595	-
1210	其他應收款－關係人	七	904	-	9,038	-	422	-
130X	存貨	六(三)	461,997	4	511,094	5	419,857	4
1410	預付款項		86,240	1	48,503	-	117,977	1
1470	其他流動資產	六(一)及八	407,865	4	241,355	3	252,452	3
11XX	**流動資產合計**		3,289,079	33	3,136,883	34	3,595,329	38
	非流動資產							
1517	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	六(四)	2,691,849	27	-	-	-	-
1523	備供出售金融資產－非流動	十二(五)	-	-	1,988,531	21	1,740,625	18
1535	按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動	六(五)	500,000	5	-	-	-	-
1543	以成本衡量之金融資產－非流動	八及十二(五)	-	-	236,063	3	257,160	3
1546	無活絡市場之債務工具投資－非流動	十二(五)	-	-	500,000	5	500,000	5
1550	採用權益法之投資	六(六)	38,711	-	37,559	-	33,459	-
1600	不動產、廠房及設備	六(七)及八	3,182,755	32	3,138,489	34	3,140,524	33
1780	無形資產	六(八)	207,289	2	210,128	2	214,111	2
1840	遞延所得稅資產		63,812	1	60,756	1	67,011	1
1900	其他非流動資產		33,339	-	33,274	-	36,091	-
15XX	**非流動資產合計**		6,717,755	67	6,204,800	66	5,988,981	62
1XXX	**資產總計**		$ 10,006,834	100	$ 9,341,683	100	$ 9,584,310	100

（續次頁）

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國107年6月30日及民國106年12月31日、6月30日

（民國107年及106年6月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	負債及權益	附註	107年6月30日 金額	%	106年12月31日 金額	%	106年6月30日 金額	%
	流動負債							
2100	短期借款	六(九)及八	$ 170,000	2	$ 170,000	2	$ 170,000	2
2110	應付短期票券	六(十)	249,921	2	259,853	3	189,952	2
2130	合約負債－流動	六(十八)及七	669,591	7	-	-	-	-
2150	應付票據		306,764	3	374,161	4	247,122	3
2170	應付帳款		989,968	10	1,026,708	11	1,170,035	12
2190	應付建造合約款	七及十二(六)	-	-	383,776	4	397,523	4
2200	其他應付款	六(十一)	668,060	7	379,153	4	1,077,008	11
2230	本期所得稅負債		48,454	-	24,037	-	38,557	-
2300	其他流動負債	十二(六)	7,349	-	80,879	1	99,490	1
21XX	**流動負債合計**		3,110,107	31	2,698,567	29	3,389,687	35
	非流動負債							
2540	長期借款	六(十二)及八	1,100,000	11	1,150,000	12	1,100,000	12
2570	遞延所得稅負債		44,560	1	33,868	-	28,339	-
2600	其他非流動負債		307,479	3	322,532	4	304,921	3
25XX	**非流動負債合計**		1,452,039	15	1,506,400	16	1,433,260	15
2XXX	**負債總計**		4,562,146	46	4,204,967	45	4,822,947	50
	權益							
	歸屬於母公司業主之權益							
	股本	六(十四)						
3110	普通股股本		1,350,000	13	1,350,000	15	1,350,000	14
	資本公積	六(十五)						
3200	資本公積		757,693	7	757,693	8	757,693	8
	保留盈餘	六(十六)						
3310	法定盈餘公積		588,650	6	554,267	6	554,267	6
3350	未分配盈餘		266,972	3	358,360	4	212,427	2
	其他權益	六(十七)						
3400	其他權益		1,084,885	11	674,722	7	501,044	5
31XX	**歸屬於母公司業主之權益合計**		4,048,200	40	3,695,042	40	3,375,431	35
36XX	**非控制權益**	四(三)	1,396,488	14	1,441,674	15	1,385,932	15
3XXX	**權益總計**		5,444,688	54	5,136,716	55	4,761,363	50
	重大或有負債及未認列之合約承諾	九						
3X2X	**負債及權益總計**		$ 10,006,834	100	$ 9,341,683	100	$ 9,584,310	100

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：賴士勳　　經理人：莫惟瀚　　會計主管：趙存國

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國107年及106年1月1日至6月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元
(除每股盈餘為新台幣元外)

	項目	附註	107年4月1日至6月30日 金額	%	106年4月1日至6月30日 金額	%	107年1月1日至6月30日 金額	%	106年1月1日至6月30日 金額	%
4000	**營業收入**	六(十八)及七	$ 2,164,101	100	$ 1,954,919	100	$ 4,100,018	100	$ 3,791,307	100
5000	**營業成本**	六(三)(八)(十九)(二十三)(二十四)	(1,795,195)	(83)	(1,652,499)	(85)	(3,495,960)	(85)	(3,195,916)	(84)
5900	**營業毛利**		368,906	17	302,420	15	604,058	15	595,391	16
	營業費用	六(八)(二十三)(二十四)及七								
6100	推銷費用		(19,926)	(1)	(19,411)	(1)	(39,277)	(1)	(40,288)	(1)
6200	管理費用		(120,743)	(5)	(124,713)	(6)	(236,300)	(6)	(250,363)	(7)
6300	研究發展費用		(16,783)	(1)	(18,482)	(1)	(39,536)	(1)	(37,670)	(1)
6450	預期信用減損損失	六(二十三)	(479)	-	-	-	(6,080)	-	-	-
6000	**營業費用合計**		(157,931)	(7)	(162,606)	(8)	(321,193)	(8)	(328,321)	(9)
6900	**營業利益**		210,975	10	139,814	7	282,865	7	267,070	7
	營業外收入及支出									
7010	其他收入	六(二十)	8,485	-	6,833	-	16,785	-	14,468	-
7020	其他利益及損失	六(二十一)	(759)	-	621	-	(2,151)	-	(2,432)	-
7050	財務成本	六(二十二)	(4,189)	-	(4,086)	-	(8,558)	-	(8,295)	-
7060	採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額	六(六)	(24)	-	(77)	-	320	-	(10)	-
7000	**營業外收入及支出合計**		3,513	-	3,291	-	6,396	-	3,731	-
7900	**稅前淨利**		214,488	10	143,105	7	289,261	7	270,801	7
7950	所得稅費用	六(二十五)	(42,306)	(2)	(22,198)	(1)	(49,308)	(1)	(44,069)	(1)
8200	**本期淨利**		$ 172,182	8	$ 120,907	6	$ 239,953	6	$ 226,732	6

(續次頁)

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國107年及106年1月1日至6月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

（除每股盈餘為新台幣元外）

	項目	附註	107年4月1日至6月30日 金額	%	106年4月1日至6月30日 金額	%	107年1月1日至6月30日 金額	%	106年1月1日至6月30日 金額	%
	其他綜合損益(淨額)									
	不重分類至損益之項目									
8316	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	六(四)	$ 199,507	9	$ -	-	$ 423,350	10	$ -	-
8349	與不重分類之項目相關之所得稅	六(二十五)	17,253	1	-	-	(8,071)	-	-	-
8310	**不重分類至損益之項目總額**		216,760	10	-	-	415,279	10	-	-
	後續可能重分類至損益之項目									
8361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	六(十七)	250	-	3,202	-	1,638	-	(5,462)	-
8362	備供出售金融資產未實現評價損益	十二(五)	-	-	(127,887)	(6)	-	-	(300,278)	(8)
8399	與可能重分類之項目相關之所得稅	六(二十五)	(50)	-	7,625	-	205	-	10,613	-
8360	**後續可能重分類至損益之項目總額**		200	-	(117,060)	(6)	1,843	-	(295,127)	(8)
8500	**本期綜合損益總額**		$ 389,142	18	$ 3,847	-	$ 657,075	16	($ 68,395)	(2)
	淨利歸屬於：									
8610	母公司業主		$ 155,970	7	$ 100,702	5	$ 217,424	5	$ 197,619	5
8620	非控制權益		16,212	1	20,205	1	22,529	1	29,113	1
			$ 172,182	8	$ 120,907	6	$ 239,953	6	$ 226,732	6
	綜合損益總額歸屬於：									
8710	母公司業主		$ 370,640	17	($ 14,027)	(1)	$ 626,504	15	($ 91,921)	(3)
8720	非控制權益		18,502	1	17,874	1	30,571	1	23,526	1
			$ 389,142	18	$ 3,847	-	$ 657,075	16	($ 68,395)	(2)
	每股盈餘	六(二十六)								
9750	**基本每股盈餘**		$ 1.16		$ 0.75		$ 1.61		$ 1.46	
9850	**稀釋每股盈餘**		$ 1.15		$ 0.75		$ 1.61		$ 1.46	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：賴士勳　　經理人：莫惟瀚　　會計主管：趙存國

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國107年及106年1月1日至6月30日

（僅經核閱，未依一般公認審計準則查核）

單位：新台幣仟元

	附註	歸屬於母公司業主之權益											
		資本公積				保留盈餘		其他權益					
		普通股股本	發行溢額	取得或處分子公司股權價格與帳面價值差額	認列對子公司所有權益變動數	法定盈餘公積	未分配盈餘	國外營運機構財務報表換算之兌換差額	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益	備供出售金融資產未實現損益	總計	非控制權益	權益總額
106年1月1日至6月30日													
106年1月1日餘額		$ 1,350,000	$ 520,455	$ 18,858	$ 218,380	$ 493,574	$ 615,501	($ 14,014)	$ -	$ 804,598	$ 4,007,352	$ 1,462,806	$ 5,470,158
本期淨利		-	-	-	-	-	197,619	-	-	-	197,619	29,113	226,732
本期其他綜合損益	六(十七)	-	-	-	-	-	-	(4,533)	-	(285,007)	(289,540)	(5,587)	(295,127)
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	197,619	(4,533)	-	(285,007)	(91,921)	23,526	(68,395)
105年度盈餘指撥及分派	六(十六)												
法定盈餘公積		-	-	-	-	60,693	(60,693)	-	-	-	-	-	-
現金股利		-	-	-	-	-	(540,000)	-	-	-	(540,000)	-	(540,000)
非控制權益變動數		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(100,400)	(100,400)
106年6月30日餘額		$ 1,350,000	$ 520,455	$ 18,858	$ 218,380	$ 554,267	$ 212,427	($ 18,547)	$ -	$ 519,591	$ 3,375,431	$ 1,385,932	$ 4,761,363
107年1月1日至6月30日													
107年1月1日餘額		$ 1,350,000	$ 520,455	$ 18,858	$ 218,380	$ 554,267	$ 358,360	($ 14,729)	$ -	$ 689,451	$ 3,695,042	$ 1,441,674	$ 5,136,716
追溯適用及追溯重編之影響數	十二(五)	-	-	-	-	-	41,717	-	691,638	(689,451)	43,904	-	43,904
1月1日重編後餘額		1,350,000	520,455	18,858	218,380	554,267	400,077	(14,729)	691,638	-	3,738,946	1,441,674	5,180,620
本期淨利		-	-	-	-	-	217,424	-	-	-	217,424	22,529	239,953
本期其他綜合損益	六(十七)	-	-	-	-	-	1,104	1,843	406,133	-	409,080	8,042	417,122
本期綜合損益總額		-	-	-	-	-	218,528	1,843	406,133	-	626,504	30,571	657,075
106年度盈餘指撥及分派	六(十六)												
法定盈餘公積		-	-	-	-	34,383	(34,383)	-	-	-	-	-	-
現金股利		-	-	-	-	-	(317,250)	-	-	-	(317,250)	-	(317,250)
非控制權益變動數		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(75,757)	(75,757)
107年6月30日餘額		$ 1,350,000	$ 520,455	$ 18,858	$ 218,380	$ 588,650	$ 266,972	($ 12,886)	$ 1,097,771	$ -	$ 4,048,200	$ 1,396,488	$ 5,444,688

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：賴士勳　　經理人：莫惟瀚　　會計主管：趙存國

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國107年及106年1月1日至6月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
營業活動之現金流量			
本期稅前淨利		$ 289,261	$ 270,801
調整項目			
收益費損項目			
預期信用減損損失	六(二十三)及十二(三)	6,080	-
壞帳迴轉利益	六(二十)及十二(五)	-	(101)
採用權益法認列之關聯企業損(益)之份額	六(六)	(320)	10
折舊費用	六(七)(二十三)	93,574	90,814
攤銷與折耗費用	六(八)(二十三)	7,100	12,539
處分不動產、廠房及設備損失		-	(200)
利息收入	六(二十)	(11,962)	(12,140)
利息費用	六(二十二)	8,558	8,295
與營業活動相關之資產/負債變動數			
與營業活動相關之資產之淨變動			
合約資產-流動		114,623	-
應收票據		(68,473)	46,942
應收票據-關係人		(26,533)	16,161
應收帳款		119,530	175,983
應收帳款-關係人		167,172	(32,170)
應收建造合約款		-	(6,884)
其他應收款		(2,036)	210
其他應收款-關係人		(616)	(134)
存貨		49,097	42,943
預付款項		(37,632)	(50,689)
其他流動資產		39	2,015
與營業活動相關之負債之淨變動			
合約負債-流動		214,005	-
應付票據		(67,399)	(190,513)
應付帳款		(36,692)	(320,716)
應付建造合約款		-	(131,482)
其他應付款		(101,366)	(20,510)
其他流動負債		(2,098)	42,910
其他非流動負債		(9,313)	(15,991)
營運產生之現金流入(流出)		704,599	(71,907)
收取之利息		24,134	20,346
支付之利息		(8,582)	(8,428)
支付之所得稅		(25,121)	(74,785)
營業活動之淨現金流入(流出)		695,030	(134,774)

(續次頁)

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國107年及106年1月1日至6月30日

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
投資活動之現金流量			
其他金融資產增加		($ 165,771)	($ 22,638)
取得以成本衡量之金融資產-非流動	十二(五)	-	(49,175)
取得不動產、廠房及設備	六(二十八)	(134,703)	(67,287)
處分不動產、廠房及設備價款		-	495
取得無形資產	六(二十八)	(9,681)	(4,470)
其他非流動資產增加		(841)	(5,960)
投資活動之淨現金流出		(310,996)	(149,035)
籌資活動之現金流量			
短期借款減少		-	(30,000)
應付短期票券減少		(9,932)	(10,009)
長期借款舉借數		500,000	600,000
長期借款償還數		(550,000)	(620,000)
存入保證金減少		(5,742)	(7,066)
籌資活動之淨現金流出		(65,674)	(67,075)
匯率影響數		536	(2,398)
本期現金及約當現金增加(減少)數		318,896	(353,282)
期初現金及約當現金餘額		394,258	1,094,982
期末現金及約當現金餘額		$ 713,154	$ 741,700

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：賴士勳　　經理人：莫惟瀚　　會計主管：趙存國

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

合併財務報表附註

民國107年及106年第二季

(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

一、公司沿革

1. 本公司之前身為評輝營造股份有限公司，設立於民國64年11月。於民國95年4月合併潤安機電工程股份有限公司及潤弘精密工程事業股份有限公司，本公司為存續公司。並於同年12月更名為潤弘精密工程事業股份有限公司(以下簡稱「本公司」)。

2. 經歷次增資後，截至民國107年6月30日止，本公司實收資本額為$1,350,000，每股面額新台幣10元，共計135,000,000股，全數發行普通股，其中潤泰資源整合股份有限公司持有本公司53.99%之股權，潤泰創新國際股份有限公司為本公司最終之母公司。

3. 本公司及子公司(以下統稱「合併公司」)主要業務為(一)建築及土木工程之承攬;(二)機電承裝工程、自來水承裝工程及冷凍空調工程;(三)土木之預鑄樑、柱、樓版、外牆與各式預鑄房屋結構構件之生產與銷售;(四)泥作牆面打底粉光材料、磁磚黏著劑、自平水泥、乾拌水泥砂漿之生產與銷售、水泥之半成品及水泥製品之生產及經銷;(五)土木及預鑄工程之規劃、設計與顧問;(六)前各項建材及器材之經銷代理與進出口貿易業務;(七)室內裝潢與庭園綠化設計及施工。

4. 本公司股票自民國99年3月26日起在臺灣證券交易所股份有限公司掛牌上市交易。

二、通過財報之日期及程序

本合併財務報告已於民國107年8月13日提報董事會。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下簡稱「金管會」)認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國107年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第2號之修正「股份基礎給付交易之分類及衡量」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第4號之修正「於國際財務報導準則第4號『保險合約』下國際財務報導準則第9號『金融工具』之適用」	民國107年1月1日

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第9號「金融工具」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」	民國107年1月1日
國際財務報導準則第15號之修正「國際財務報導準則第15號『客戶合約之收入』之闡釋」	民國107年1月1日
國際會計準則第7號之修正「揭露倡議」	民國106年1月1日
國際會計準則第12號之修正「未實現損失之遞延所得稅資產之認列」	民國106年1月1日
國際會計準則第40號之修正「投資性不動產之轉列」	民國107年1月1日
國際財務報導解釋第22號「外幣交易與預收(付)對價」	民國107年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第1號「首次採用國際財務報導準則」	民國107年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際財務報導準則第12號「對其他個體之權益之揭露」	民國106年1月1日
2014-2016週期之年度改善-國際會計準則第28號「投資關聯企業及合資」	民國107年1月1日

除下列所述者外，本合併公司經評估上述準則及解釋對本合併公司財務狀況與財務績效並無重大影響：

1. 國際財務報導準則第 9 號「金融工具」

(1)金融資產債務工具按企業之經營模式及合約現金流量特性判斷，可分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產、透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產及按攤銷後成本衡量之金融資產；金融資產權益工具分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產，除非企業作不可撤銷之選擇將非交易目的之權益工具的公允價值認列於其他綜合損益。

(2)金融資產債務工具之減損評估應採預期信用損失模式，於每一資產負債表日評估該工具之信用風險是否有顯著增加，以適用 12 個月之預期信用損失或存續期間之預期信用損失(於發生減損前之利息收入按資產帳面總額估計)；或是否業已發生減損，於發生減損後之利息收入按提列備抵呆帳後之帳面淨額估計。應收帳款(不包含重大財務組成部分)應按存續期間之預期信用損失衡量備抵損失。

(3)本合併公司對於國際財務報導準則第 9 號(以下簡稱「IFRS 9」)係採用不重編前期財務報表(以下簡稱「修正式追溯」)，對民國 107 年 1 月 1 日之影響，請詳附註十二(五)2.說明。

2. 國際財務報導準則第 15 號「客戶合約之收入」及相關修正

(1)國際財務報導準則第 15 號「客戶合約之收入」取代國際會計準則第 11 號「建造合約」、國際會計準則第 18 號「收入」以及其相關解釋及解釋公告。按準則規定收入應於客戶取得對商品或勞務之控制時認列，當客戶已具有主導資產之使用並取得該資產之幾乎所有剩餘效益之能力時表示客戶取得對商品或勞務之控制。

此準則之核心原則為「企業認列收入以描述對客戶所承諾之商品或勞務之移轉，該收入之金額反映該等商品或勞務換得之預期有權取得之對價」。企業按核心原則認列收入時需運用下列五步驟來決定收入認列的時點及金額：

步驟 1：辨認客戶合約。

步驟 2：辨認合約中之履約義務。

步驟 3：決定交易價格。

步驟 4：將交易價格分攤至合約中之履約義務。

步驟 5：於（或隨）企業滿足履約義務時認列收入。

此外，準則亦包括一套整合性之揭露規定，該等規定將使企業對財務報表使用者提供有關客戶合約所產生之收入與現金流量之性質、金額、時間及不確定性之綜合資訊。

(2)本合併公司於初次適用國際財務報導準則第 15 號(以下簡稱「IFRS 15」)時，選擇不重編前期財務報表，將初次適用之累積影響數認列於民國 107 年 1 月 1 日之保留盈餘(以下簡稱「修正式追溯」)，本合併公司採用 IFRS 15 過渡規定之權宜作法，選擇僅對民國 107 年 1 月 1 日尚未完成之合約追溯適用 IFRS 15，關於採修正式追溯過渡作法對民國 107 年 1 月 1 日之影響金額彙總如下：

合併資產負債表 受影響項目	適用原收入準則 帳面金額	初次適用 IFRS 15影響金額	適用IFRS 15 調整後金額	說明
民國107年1月1日				
合約資產-流動	$ -	$ 480,625	$ 480,625	(A)
應收建造合約款	480,625	(480,625)	-	(A)
合計	$ 480,625	$ -	$ 480,625	
合約負債-流動	$ -	$ 455,586	$ 455,586	(B)(C)
應付建造合約款	383,776	(383,776)	-	(B)
其他流動負債	80,879	(71,810)	9,069	(C)
合計	$ 464,655	$ -	$ 464,655	

A.客戶合約相關資產及負債之表達

因適用 IFRS 15 之相關規定，本合併公司修改部分會計項目於資產負債表之表達如下：

(A)依據 IFRS 15 之規定，認列與工程合約相關之合約資產，在過去報導期間於資產負債表上表達為應收建造合約款，於民國 107 年 1 月 1 日餘額為$480,625。

(B)依據 IFRS 15 之規定，認列與工程合約相關之合約負債，在過去報導期間於資產負債表上表達為應付建造合約款，於民國 107 年 1 月 1 日餘額為$383,776。

(C)依據 IFRS 15 之規定，認列與建材銷售合約及勞務合約相關之合約負債，在過去報導期間於資產負債表上表達為其他流動負債(預收款項)，於民國 107 年 1 月 1 日餘額為$71,810。

B.有關初次適用 IFRS 15 之其他揭露請詳附註十二(六)之說明。

(二)尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 108 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第9號之修正「具負補償之提前還款特性」	民國108年1月1日
國際財務報導準則第16號「租賃」	民國108年1月1日
國際會計準則第19號之修正「計畫之修正、縮減或清償」	民國108年1月1日
國際會計準則第28號之修正「關聯企業與合資之長期權益」	民國108年1月1日
國際財務報導解釋第23號「不確定性之所得稅處理」	民國108年1月1日
2015-2017週期之年度改善	民國108年1月1日

除下列所述者外，本合併公司經評估上述準則及解釋對本合併公司財務狀況與財務績效並無重大影響，相關影響金額待評估完成時予以揭露：

國際財務報導準則第 16 號「租賃」

國際財務報導準則第 16 號「租賃」取代國際會計準則第 17 號「租賃」及其相關解釋及解釋公告。此準則規定承租人應認列使用權資產及租賃負債(除租賃期間短於 12 個月或低價值標的資產之租賃外)；出租人會計處理仍相同，按營業租賃及融資租賃兩種類型處理，僅增加相關揭露。

本合併公司於民國 107 年第一季報告董事會，國際財務報導準則第 16 號對本合併公司之影響不重大。

本合併公司將屬承租人之租賃合約按國際財務報導準則第 16 號處理，惟採用不重編前期財務報表(以下簡稱「修正式追溯」)，其影響將調整於民國 108 年 1 月 1 日。

(三)國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發佈、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會發布之生效日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國110年1月1日

本合併公司經評估上述準則及解釋對本合併公司財務狀況與財務績效並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

重大會計政策除遵循聲明、編製基礎、合併基礎及新增部分說明如下，餘與民國106年度合併財務報表附註四相同。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致適用。

(一)遵循聲明

1. 本合併財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。

2. 本合併財務報告應併同民國106年度合併財務報告閱讀。

(二)編製基礎

1. 除下列重要項目外，本合併財務報告係按歷史成本編製：

(1)按公允價值衡量之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產/備供出售金融資產。

(2)按退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利負債。

2. 編製符合金管會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱IFRSs)之財務報告需要使用一些重要會計估計，在應用本合併公司之會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請詳附註五說明。

3. 本合併公司於民國107年1月1日初次適用IFRS 9及IFRS 15，係採用修正式追溯將轉換差額認列於民國107年1月1日之保留盈餘或其他權益，並未重編民國106年度及106年第二季之財務報表及附註。民國106年度及106年第二季係依據國際會計準則第39號(以下簡稱「IAS 39」)、國際會計準則第11號(以下簡稱「IAS 11」)、國際會計準則第18號(以下簡稱「IAS 18」)及其相關解釋及解釋公告編製，所採用之重大會計政策及重要會計項目之說明，請詳附註十二(五)及(六)說明。

(三)合併基礎

1. 合併財務報告編製原則

本合併財務報告之編製原則與民國106年度合併財務報告相同。

2. 列入合併財務報告之子公司：

投資公司名稱	子公司名稱	業務性質	所持股權百分比(%) 107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日	說明
潤弘精密工程事業股份有限公司	潤泰精密材料股份有限公司(潤泰精材)	建材事業	39.15	39.15	39.15	
〃	潤陽營造股份有限公司(潤陽營造)	土木建築工程	100	100	100	註
〃	潤鑄建築工程(上海)有限公司(潤鑄)	建築工程技術諮詢及服務	100	100	100	註
潤泰精密材料股份有限公司	潤德室內裝修設計工程股份有限公司(潤德)	室內裝潢與庭園綠化設計及施工	100	100	100	

註：因不符合重要子公司之定義，其民國 107 年及 106 年第二季之財務報告未經會計師核閱。

3. 未列入合併財務報告之子公司：無此情形。

4. 子公司會計期間不同之調整及處理方式：無此情形。

5. 重大限制：無此情形。

6. 對本合併公司具重大性之非控制權益之子公司：

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益 107年6月30日 金額	持股百分比	106年12月31日 金額	持股百分比
潤泰精材	臺灣	$1,396,488	60.85%	$1,441,674	60.85%

子公司名稱	主要營業場所	非控制權益 106年6月30日 金額	持股百分比
潤泰精材	臺灣	$1,385,932	60.85%

子公司彙總性財務資訊：

資產負債表

	潤泰精材 107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
流動資產	$ 1,371,485	$ 1,451,838	$ 1,368,011
非流動資產	3,216,765	3,158,934	3,157,179
流動負債	(1,174,099)	(1,071,136)	(1,128,973)
非流動負債	(1,119,133)	(1,170,360)	(1,118,554)
淨資產總額	$ 2,295,018	$ 2,369,276	$ 2,277,663

綜合損益表

	潤泰精材	
	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
收入	$ 627,157	$ 691,820
稅前淨利	33,318	40,722
所得稅費用	(6,675)	(7,518)
本期淨利	26,643	33,204
其他綜合損益(稅後淨額)	3,763	(3,831)
本期綜合損益總額	$ 30,406	$ 29,373
綜合損益總額歸屬於 非控制權益	$ 18,502	$ 17,874
支付予非控制權益股利	$ 75,757	$ 100,400

	潤泰精材	
	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
收入	$ 1,260,409	$ 1,358,812
稅前淨利	46,607	58,405
所得稅費用	(9,582)	(10,562)
本期淨利	37,025	47,843
其他綜合損益(稅後淨額)	13,217	(9,185)
本期綜合損益總額	$ 50,242	$ 38,658
綜合損益總額歸屬於 非控制權益	$ 30,571	$ 23,526
支付予非控制權益股利	$ 75,757	$ 100,400

現金流量表

	潤泰精材	
	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
營業活動之淨現金流入(出)	$ 403,679	($ 10,767)
投資活動之淨現金流出	(239,306)	(64,580)
籌資活動之淨現金流出	(58,632)	(62,267)
本期現金及約當現金增加(減少)數	105,741	(137,614)
期初現金及約當現金餘額	27,995	258,379
期末現金及約當現金餘額	$ 133,736	$ 120,765

(四)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產

1. 係指原始認列時作一不可撤銷之選擇，將非持有供交易之權益工具投資之公允價值變動列報於其他綜合損益。
2. 本合併公司對於符合交易慣例之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產係採用交易日會計。
3. 本合併公司於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，後續按公允

價值衡量：

屬權益工具之公允價值變動認列於其他綜合損益，於除列時，先前認列於其他綜合損益之累積利益或損失後續不得重分類至損益，轉列至保留盈餘項下。當收取股利之權利確立，與股利有關之經濟效益很有可能流入，及股利金額能可靠衡量時，本合併公司於損益認列股利收入。

(五)按攤銷後成本衡量之金融資產

1. 係指同時符合下列條件者：

(1)在以收取合約現金流量為目的之經營模式下持有該金融資產。

(2)該金融資產之合約條款產生特定日期之現金流量，完全為支付本金及流通在外本金金額之利息。

2. 本合併公司對於符合交易慣例之按攤銷後成本衡量之金融資產係採用交易日會計。

3. 本合併公司於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，後續採有效利息法按攤銷程序於流通期間內認列利息收入，及認列減損損失，並於除列時，將其利益或損失認列於損益。

(六)應收帳款及票據

1. 係指依合約約定，已具無條件收取因移轉商品或勞務所換得對價金額權利之帳款及票據。

2. 屬未付息之短期應收帳款及票據，因折現之影響不大，本合併公司係以原始發票金額衡量。

(七)金融資產減損

本合併公司於每一資產負債表日，就透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資及按攤銷後成本衡量之金融資產，考量所有合理且可佐證之資訊(包括前瞻性者)後，對自原始認列後信用風險並未顯著增加者，按 12 個月預期信用損失金額衡量備抵損失；對自原始認列後信用風險已顯著增加者，按存續期間預期信用損失金額衡量備抵損失；就不包含重大財務組成部分之應收帳款或合約資產，按存續期間預期信用損失金額衡量備抵損失。

(八)借款

係指向銀行借入之長、短期款項及其他長、短期借款。本合併公司於原始認列時按其公允價值減除交易成本衡量，後續就減除交易成本後之價款與贖回價值之任何差額，採有效利息法按攤銷程序於流通期間內認列利息費用於損益。

(九)應付帳款及票據

1. 係指因賒購原物料、商品或勞務所發生之債務及因營業與非因營業而發生之應付票據。

2. 屬未付息之短期應付帳款及票據，因折現之影響不大，本合併公司係以原始發票金額衡量。

(十)員工福利

期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期末為基礎計算。若該結束日後有重大市場變動及重大縮減、清償或其他重大一次性事項，則加以調整，並配合前述政策揭露相關資訊。

(十一)所得稅

1. 期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合前述政策揭露相關資訊。
2. 期中期間發生稅率變動時，本合併公司於變動發生當期一次認列變動影響數，對於所得稅與認列於損益之外的項目有關者，將變動影響數認列於其他綜合損益或權益項目，對於所得稅與認列於損益的項目有關者，則將變動影響數認列於損益。

(十二)收入

1. 商品銷售
   (1)本合併公司製造且銷售水泥建材相關產品，銷貨收入於產品之控制移轉予客戶時認列，即當產品被交付予客戶，且本合併公司並無尚未履行之履約義務可能影響客戶接受該產品時。當產品被運送至指定地點，陳舊過時及滅失之風險已移轉予客戶，且客戶依據銷售合約接受產品，或有客觀證據證明所有接受標準皆已滿足時，商品交付方屬發生。
   (2)應收帳款於商品交付予客戶時認列，因自該時點起本合併公司對合約價款具無條件權利，僅須時間經過即可自客戶收取對價。
   (3)財務組成部分
   本合併公司與客戶簽訂之合約，移轉所承諾之商品或服務予客戶與客戶付款間之時間間隔未有超過一年者，因此本合併公司並未調整交易價格以反映貨幣時間價值。
2. 工程收入
   (1)本合併公司從事工程承攬合約，因工程履約並未創造對本合併公司具有其他用途之資產，且本合併公司對迄今已完成履約之款項具有可執行之權利，故係屬隨時間逐步滿足履約義務而認列收入之類型。
   (2)本合併公司工程承攬合約係採完工百分比法於合約期間按合約完成程度認列收入，合約成本於發生之期間認列為費用。完成程度參照每份合約至報導期間結束日已發生之合約成本，占該合約之估計總成本之百分比計算。當總合約成本很可能超過總合約收入時，立即將預期損失認列為費用。當工程承攬合約之結果無法合理衡量時，僅在已發生合約成本之範圍內認列收入。
   (3)本合併公司對收入、成本及完工程度之估計隨情況改變進行修正。任何導因於估計變動之估計收入、成本增加或減少，於導致修正之情況被管理階層所知悉之期間內反映於損益。

(4)合約中包含之履約紅利、罰款及求償等可能導致合約總價變動之條款，係依較能預測其將有權取得之對價金額之方式估計變動對價，且僅就所認列累計收入金額高度很有可能不會發生重大迴轉之部分予以認列。

(5)本合併公司之工程承攬合約包含與客戶約定部分工程款需待工程驗收後始支付，該等應收工程保留款係對客戶提供保障，以防另一方未適當完成合約之部分或全部義務，因此並無存在重大財務組成部分。

(6)本合併公司對因合約工作應向客戶收取之帳款總額，即在建合約中已發生成本加計已認列利潤（減除已認列損失）超過工程進度請款金額部分，認列為合約資產。若在建合約中工程進度請款金額超過已發生成本加已認列利潤（減除已認列損失）之合計數，認列為合約負債。

五、重大會計判斷、假設及估計不確定性之主要來源

本期無重大變動，請參閱民國 106 年度合併財務報告附註五。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
庫存現金及週轉金	$ 2,885	$ 2,807	$ 2,677
支票存款	10,364	7,950	27,122
活期存款	174,103	15,371	247,880
定期存款	6,388	102,290	77,974
約當現金-附買回債券	519,414	265,840	386,047
	$ 713,154	$ 394,258	$ 741,700

1. 本合併公司往來之金融機構信用品質良好，且本合併公司與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。

2. 本合併公司因業務承攬、工程履約保證金及保固等保證，民國 107 年 6 月 30 日、106 年 12 月 31 日及 106 年 6 月 30 日用途受限之現金及約當現金分別為$353,332、$236,257 及$247,254，分類為其他金融資產(表列其他流動資產)。

(二)應收票據及帳款

	107年6月30日
應收票據	$ 234,559
應收帳款	$ 789,732
減：備抵損失	(20,418)
	$ 769,314

1. 潤泰精材於接受客戶訂購後即開立發票及提貨單交予買受人，並借記應收帳款、貸記預收貨款(表列「合約負債-流動」)，並於收到客戶開立之

票據後將帳款轉票據；客戶就需求依提貨單分批提領水泥，於實際提領水泥時再將預收貨款轉列收入。為避免虛增資產及負債，潤泰精材將尚未提領水泥之應收票據及帳款與預收貨款科目互相抵銷，民國 107 年 6 月 30 日金額為$83,033，並以抵銷後之淨額表達。

2. 應收帳款及應收票據之帳齡分析如下：

	107年6月30日	
	應收帳款	應收票據
未逾期	$ 751,426	$ 234,559
已逾期		
30天內	4,502	-
31-60天	448	-
61-150天	15,322	-
151天以上	18,034	-
	$ 789,732	$ 234,559

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

3. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本合併公司應收票據於民國107年6月30日信用風險最大之暴險金額為$234,559，最能代表本合併公司應收帳款於民國 107 年 6 月 30 日信用風險最大之暴險金額為$769,314。

4. 相關應收帳款及應收票據信用風險資訊請詳附註十二(三)。

5. 民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日之應收帳款及應收票據資訊請詳附註十二(五)說明。

(三)存貨

	107年6月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	$ 229,111	($ 929)	$ 228,182
在製品	123,363	-	123,363
製成品	81,968	(1,256)	80,712
商品存貨	29,740	-	29,740
	$ 464,182	($ 2,185)	$ 461,997

	106年12月31日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	$ 229,998	($ 988)	$ 229,010
在製品	148,780	-	148,780
製成品	85,400	(123)	85,277
商品存貨	48,027	-	48,027
	$ 512,205	($ 1,111)	$ 511,094

	106年6月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	$ 218,006	($ 1,646)	$ 216,360
在製品	132,305	-	132,305
製成品	70,803	(379)	70,424
商品存貨	768	-	768
	$ 421,882	($ 2,025)	$ 419,857

本合併公司當期認列為費損之存貨及工程成本：

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
已出售存貨及工程成本	$ 1,790,969	$ 1,649,839
存貨跌價回升利益	(3,230)	(4,810)
出售下腳料收入	(4,346)	(1,555)
	$ 1,783,393	$ 1,643,474
	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
已出售存貨及工程成本	$ 3,477,866	$ 3,182,088
存貨跌價損失(回升利益)	1,074	(144)
出售下腳料收入	(6,448)	(3,024)
	$ 3,472,492	$ 3,178,920

(四)透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動

項目	107年6月30日
權益工具	
上市櫃公司股票	$ 1,379,464
非上市櫃公司股票	286,324
	1,665,788
評價調整	1,026,061
	$ 2,691,849

1. 本合併公司選擇將屬策略性投資之非上市櫃股票分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，該等投資於民國 107 年 6 月 30 日之公允價值為$279,967。

2. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本合併公司持有透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，於民國 107 年 6 月 30 日信用風險最大之暴險金額為$2,691,849。

3. 透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產認列於綜合損益之明細如下：

項目	107年4月1日至6月30日
認列於其他綜合損益之公允價值變動	$ 199,507

項目	107年1月1日至6月30日
認列於其他綜合損益之公允價值變動	$ 423,350

4. 民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日之備供出售金融資產及以成本衡量之金融資產資訊請詳附註十二(五)說明。

(五)按攤銷後成本衡量之金融資產-非流動

項目	107年6月30日
次順位公司債	$ 500,000

1. 按攤銷後成本衡量之金融資產認列於損益之明細如下：

	107年4月1日至6月30日
利息收入	$ 4,375

	107年1月1日至6月30日
利息收入	$ 8,750

2. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本公司持有按攤銷後成本衡量之金融資產，於民國 107 年 6 月 30 日信用風險最大之暴險金額為$500,000。

3. 相關按攤銷後成本衡量之金融資產信用風險資訊請詳附註十二(三)。

4. 民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日之無活絡市場之債務工具投資資訊請詳附註十二(五)說明。

(六)採用權益法之投資

	107年	106年
1月1日	$ 37,559	$ 34,530
採用權益法之投資損益份額	320	(10)
其他權益變動(附註六(十七))	832	(1,061)
6月30日	$ 38,711	$ 33,459

關聯企業：	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
Wide Profit International Holding Ltd. (Wide Profit)	$ 38,711	$ 37,559	$ 33,459

1. 本公司關聯企業之基本資訊如下：

公司名稱	主要營業場所	持股比率 107年6月30日	持股比率 106年12月31日	持股比率 106年6月30日	衡量方法
Wide Profit	香港	7.497%	7.497%	7.497%	權益法

2. 本公司關聯企業之彙總性財務資訊如下：

資產負債表

	Wide Profit 107年6月30日	Wide Profit 106年12月31日	Wide Profit 106年6月30日
總資產	$ 480,507	$ 465,186	$ 410,381
總負債	(58)	(99)	-
淨資產總額	$ 480,449	$ 465,087	$ 410,381
占關聯企業淨資產之份額	$ 36,021	$ 34,869	$ 30,769
商譽(股權淨值差異)	2,690	2,690	2,690
關聯企業帳面價值	$ 38,711	$ 37,559	$ 33,459

綜合損益表

	Wide Profit 107年4月1日至6月30日	Wide Profit 106年4月1日至6月30日
收入	$ -	$ -
繼續營業單位本期淨損	($ 326)	($ 1,015)
本期綜合損益總額	($ 326)	($ 1,015)

	Wide Profit 107年1月1日至6月30日	Wide Profit 106年1月1日至6月30日
收入	$ -	$ -
繼續營業單位本期淨利(損)	$ 4,269	($ 118)
本期綜合損益總額	$ 4,269	($ 118)

3. 本公司對 Wide Profit 持股比例雖未達 20%，惟因本公司之最終母公司-潤泰創新國際股份有限公司對 Wide Profit 具有控制力，故本公司對前述之投資採用權益法評價。

(七)不動產、廠房及設備

	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃資產	租賃改良	雜項設備	未完工程/預付土地款及待驗設備	合計
107年1月1日										
成本	$1,392,594	$1,211,560	$1,790,907	$ 30,749	$ 46,968	$ 4,944	$ 11,162	$ 34,778	$ 76,722	$4,600,384
累計折舊	-	(412,668)	(949,184)	(22,878)	(37,328)	(4,944)	(11,093)	(23,800)	-	(1,461,895)
	$1,392,594	$ 798,892	$ 841,723	$ 7,871	$ 9,640	$ -	$ 69	$ 10,978	$ 76,722	$3,138,489
107年										
1月1日	$1,392,594	$ 798,892	$ 841,723	$ 7,871	$ 9,640	$ -	$ 69	$ 10,978	$ 76,722	$3,138,489
增添	76,527	-	4,548	5,300	2,458	-	-	-	48,420	137,253
移轉	64,128	1,633	48,810	-	-	-	-	-	(114,571)	-
資產處分成本	-	-	(15,621)	-	(789)	-	-	-	-	(16,410)
處分日之累計折舊餘額	-	-	15,621	-	789	-	-	-	-	16,410
折舊費用	-	(23,850)	(63,658)	(1,674)	(2,517)	-	(16)	(1,859)	-	(93,574)
淨兌換差額	-	562	10	15	-	-	-	-	-	587
6月30日	$1,533,249	$ 777,237	$ 831,433	$ 11,512	$ 9,581	$ -	$ 53	$ 9,119	$ 10,571	$3,182,755
107年6月30日										
成本	$1,533,249	$1,213,796	$1,828,656	$ 36,071	$ 48,639	$ 4,944	$ 11,162	$ 34,778	$ 10,571	$4,721,866
累計折舊	-	(436,559)	(997,223)	(24,559)	(39,058)	(4,944)	(11,109)	(25,659)	-	(1,539,111)
	$1,533,249	$ 777,237	$ 831,433	$ 11,512	$ 9,581	$ -	$ 53	$ 9,119	$ 10,571	$3,182,755

	土地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	租賃資產	租賃改良	雜項設備	未完工程及待驗設備	合計
106年1月1日										
成本	$1,392,594	$1,209,092	$1,792,780	$ 29,892	$ 46,764	$ 4,944	$ 11,162	$ 35,521	$ 365	$4,523,114
累計折舊	-	(365,296)	(897,815)	(23,376)	(31,853)	(4,433)	(11,065)	(21,768)	-	(1,355,606)
	$1,392,594	$ 843,796	$ 894,965	$ 6,516	$ 14,911	$ 511	$ 97	$ 13,753	$ 365	$3,167,508
106年										
1月1日	$1,392,594	$ 843,796	$ 894,965	$ 6,516	$ 14,911	$ 511	$ 97	$ 13,753	$ 365	$3,167,508
增添	-	-	19,505	3,005	526	-	-	89	44,203	67,328
移轉	-	2,968	40,702	-	-	-	-	-	(43,670)	-
資產處分成本	-	-	(55,575)	(2,959)	(537)	-	-	(864)	-	(59,935)
處分日之累計折舊餘額	-	-	55,543	2,711	522	-	-	864	-	59,640
折舊費用	-	(23,634)	(60,268)	(1,129)	(3,614)	(319)	(14)	(1,836)	-	(90,814)
淨兌換差額	-	(3,129)	(16)	(52)	(6)	-	-	-	-	(3,203)
6月30日	$1,392,594	$ 820,001	$ 894,856	$ 8,092	$ 11,802	$ 192	$ 83	$ 12,006	$ 898	$3,140,524
106年6月30日										
成本	$1,392,594	$1,208,739	$1,797,382	$ 29,851	$ 46,738	$ 4,944	$ 11,162	$ 34,746	$ 898	$4,527,054
累計折舊	-	(388,738)	(902,526)	(21,759)	(34,936)	(4,752)	(11,079)	(22,740)	-	(1,386,530)
	$1,392,594	$ 820,001	$ 894,856	$ 8,092	$ 11,802	$ 192	$ 83	$ 12,006	$ 898	$3,140,524

1. 本合併公司於民國 106 年 12 月 12 日與個人簽訂不動產買賣契約，購入屏東縣里港鄉中和段土地，合約總價為$116,628。前述交易業於民國 107 年 1 月 9 日辦理過戶登記，並於民國 107 年 6 月 28 日點交完成，並支付尾款。

2. 本合併公司於民國 107 年 3 月 23 日與個人簽訂不動產買賣契約，購入屏東縣里港鄉中和段土地農牧用地，合約總價為$24,000，前述交易業於民國 107 年 4 月 23 日辦理過戶登記，過戶後預計 5 個月內點交完成，並支付尾款。因受法令限制無法對前述土地辦理產權登記，故於民國 107 年 5 月將取得之農牧用地登記予主要管理階層並設定抵押權予本合併公司。

3. 以不動產、廠房及設備提供擔保之資訊，請詳附註八之說明。

(八)無形資產

	礦源	商標、專利權及特許權	電腦軟體	商譽	其他	合計
107年1月1日						
成本	$234,798	$ 33,115	$65,034	$2,553	$ -	$335,500
累計攤銷	(49,636)	(16,046)	(59,690)	-	-	(125,372)
	$185,162	$ 17,069	$ 5,344	$2,553	$ -	$210,128
107年						
1月1日	$185,162	$ 17,069	$ 5,344	$2,553	$ -	$210,128
增添	-	1,537	19	-	2,701	4,257
攤銷費用	(4,814)	(860)	(1,426)	-	-	(7,100)
淨兌換差額	-	-	4	-	-	4
6月30日	$180,348	$ 17,746	$ 3,941	$2,553	$2,701	$207,289
107年6月30日						
成本	$234,798	$ 34,652	$65,057	$2,553	$2,701	$339,761
累計攤銷	(54,450)	(16,906)	(61,116)	-	-	(132,472)
	$180,348	$ 17,746	$ 3,941	$2,553	$2,701	$207,289

	礦源	商標、專利權及特許權	電腦軟體	商譽	合計
106年1月1日					
成本	$234,798	$ 26,378	$ 63,984	$ 2,553	$ 327,713
累計攤銷	(33,276)	(14,285)	(55,167)	-	(102,728)
	$201,522	$ 12,093	$ 8,817	$ 2,553	$ 224,985
106年					
1月1日	$201,522	$ 12,093	$ 8,817	$ 2,553	$ 224,985
增添	-	624	1,059	-	1,683
攤銷費用	(8,832)	(898)	(2,809)	-	(12,539)
淨兌換差額	-	-	(18)	-	(18)
6月30日	$192,690	$ 11,819	$ 7,049	$ 2,553	$ 214,111
106年6月30日					
成本	$234,798	$ 27,002	$ 65,021	$ 2,553	$ 329,374
累計攤銷	(42,108)	(15,183)	(57,972)	-	(115,263)
	$192,690	$ 11,819	$ 7,049	$ 2,553	$ 214,111

本合併公司無形資產未有提供質押之情形。

無形資產攤銷明細如下：

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
營業成本	$ 1,699	$ 3,550
管理費用	1,219	2,183
	$ 2,918	$ 5,733

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
營業成本	$ 4,555	$ 8,330
管理費用	2,545	4,209
	$ 7,100	$ 12,539

(九)短期借款

借款性質	107年6月30日	利率區間
銀行借款		
信用借款	$ 170,000	1.12~1.15%

借款性質	106年12月31日	利率區間
銀行借款		
信用借款	$ 170,000	1.12%~1.15%

借款性質	106年6月30日	利率區間
銀行借款		
信用借款	$ 170,000	1.12%~1.15%

本合併公司為短期借款額度所提供之擔保品除附註八所述者外，尚開立保證票據如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
保證票據	$ 1,900,000	$ 1,900,000	$ 1,320,000

(十)應付短期票券

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
應付商業本票	$ 250,000	$ 260,000	$ 190,000
減：未攤銷折價	(79)	(147)	(48)
	$ 249,921	$ 259,853	$ 189,952
利率區間	0.45%~0.85%	0.45%~0.85%	0.45%~0.83%

本合併公司為短期票券額度開立保證票據如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
保證票據	$ 850,000	$ 850,000	$ 700,000

(十一)其他應付款

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
應付股利	$ 393,033	$ -	$ 640,415
應付薪資	175,355	272,966	186,303
應付礦區整治費	647	6,067	39,964
其他應付款(暫收款)	-	-	106,490
其他應付費用	99,025	100,120	103,836
	$ 668,060	$ 379,153	$ 1,077,008

暫收款係關聯企業 Wide Profit 將其子公司沛丰建築工程(上海)有限公司(以下簡稱「沛丰」)之股權轉讓與常州市圩塘建築工程有限公司(以下簡稱「圩塘」)，惟依大陸當地法令規定需先辦妥營業執照變更方能將出售價款滙出至境外 Wide Profit 帳戶，為確保沛丰帳上資金安全，暫由本公司之子公司潤鑄代為保管沛丰現金計人民幣 23,737 仟元(折合新台幣 106,490 仟元)，圩塘公司已於民國 106 年 7 月 7 日將出售價款匯至 Wide Profit 帳戶，潤鑄並於民國 106 年 7 月 13 日將該筆款項匯回沛丰。

(十二)長期借款

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	擔保品	107年6月30日
長期銀行借款				
擔保借款	自106年8月31日至108年8月31日，並按月付息，到期償還	1.22%	註	$ 500,000
信用借款	自106年5月29日至109年5月31日，並按月付息，到期償還	1.113453%~1.15%	註	600,000
				$ 1,100,000

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	擔保品	106年12月31日
長期銀行借款				
擔保借款	自106年8月31日至108年8月31日，並按月付息，到期償還	1.22%	註	$ 550,000
信用借款	自106年5月29日至108年9月30日，並按月付息，到期償還	1.111926%~1.15%	註	600,000
				$ 1,150,000

借款性質	借款期間及還款方式	利率區間	擔保品	106年6月30日
長期銀行借款				
擔保借款	自105年8月31日至107年8月31日，並按月付息，到期償還	1.22%	註	$ 600,000
信用借款	自105年5月29日至107年8月26日，並按月付息，到期償還	1.13567%~1.15%	註	500,000
				$ 1,100,000

註：本合併公司為長期借款額度所提供之擔保品除附註八所述者外，尚開立保證票據如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
保證票據	$ 900,000	$ 900,000	$ 900,000

本合併公司尚未動用借款額度明細如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
一年內到期	$ 2,055,267	$ 2,034,775	$ 1,375,835
一年以上到期	1,183,269	1,137,421	1,190,402
	$ 3,238,536	$ 3,172,196	$ 2,566,237

(十三)退休金

1.(1)本合併公司依據「勞動基準法」之規定，訂有確定福利之退休辦法，適用於民國 94 年 7 月 1 日實施「勞工退休金條例」前所有正式員工之服務年資，以及於實施「勞工退休金條例」後選擇繼續適用勞動基準法員工之後續服務年資。員工符合退休條件者，退休金之支付係根據服務年資及退休前 6 個月之平均薪資計算，15 年以內(含)之服務年資每滿一年給予兩個基數，超過 15 年之服務年資每滿一年給予一個基數，惟累積最高以 45 個基數為限。本合併公司按月就薪資總額 2%提撥退休基金，以勞工退休準備金監督委員會之名義專戶儲存於台灣銀行。另本合併公司於每年年度終了前，估算前項勞工退休準備金專戶餘額，若該餘額不足給付次一年度內預估符合退休條件之勞工依前述計算之退休金數額，本合併公司將於次年度三月底前一次提撥其差額。

(2)民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 至 6 月 30 日，本合併公司依上述退休金辦法認列之退休金成本分別為$976、$1,240、$1,953 及$2,538。

(3)本合併公司於民國 107 年度預計支付予退休計畫之提撥金為$2,349。

2.(1)自民國 94 年 7 月 1 日起，本合併公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本合併公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按

薪資之6%提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。

(2)潤鑄按中華人民共和國政府規定之養老保險制度每月依當地員工薪資總額之一定比率提撥養老保險金，每位員工之退休金由政府管理統籌安排，該公司除按月提撥外，無進一步義務。

(3)民國107年及106年4月1日至6月30日暨107年及106年1月1至6月30日，本合併公司依上開退休金辦法認列之退休金成本分別為$9,033、$8,769、$17,851及$18,032。

(十四)股本

1. 本公司民國107年及106年6月30日流通在外股數皆為135,000仟股，民國107年及106年1月1日至6月30日並未變動。

2. 截至民國107年6月30日止，本公司股本及實收資本額皆為$1,350,000，分為135,000仟股，每股面額10元。本公司已發行股份之股款均已收訖。

(十五)資本公積

依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，按股東原有股份之比例發給新股或現金。另依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額10%為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。

(十六)保留盈餘

1. 依本公司章程規定，年度總決算如有盈餘，應依下列順序分配之：

(1)先提列繳納所得稅。

(2)彌補以往年度虧損。

(3)提列百分之十為法定盈餘公積，但法定盈餘公積累積已達本公司資本總額時，不在此限。

(4)依法令或主管機關規定提列或迴轉特別盈餘公積。

(5)扣除本項一至四款後之餘額加計以前年度未分配盈餘後，由董事會擬具分派議案，提請股東會決議後分派之。

2. 本公司股利發放政策係按公司法及本公司章程規定，並依本公司資本及財務結構、營運狀況、盈餘及所屬產業性質及週期等因素決定，得以股票股利或現金股利方式為之。

3. 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額25%之部分為限。

4. 本公司分別於民國107年5月30日及106年5月26日經股東會決議通過民國106年度及105年度盈餘分派案如下：

	106 年 度		105 年 度	
	金額	每股股利(元)	金額	每股股利(元)
法定盈餘公積	$ 34,383		$ 60,693	
現金股利	317,250	$ 2.35	540,000	$ 4.00
合計	$ 351,633		$ 600,693	

上述有關股東會決議盈餘分派情形，請至台灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

(十七)其他權益項目

	107年		
	未實現評價損益	外幣換算	總計
1月1日	$ 689,451	($ 14,729)	$ 674,722
追溯適用及追溯重編之影響	2,187	-	2,187
1月1日重編後餘額	691,638	(14,729)	676,909
稅率改變之影響數	1,508	532	2,040
評價-合併公司總額	414,844	-	414,844
評價-合併公司稅額	(10,219)	-	(10,219)
外幣換算差異數：			
-合併公司	-	806	806
-合併公司之稅額	-	(161)	(161)
-關聯企業	-	832	832
-關聯企業之稅額	-	(166)	(166)
6月30日	$ 1,097,771	($ 12,886)	$ 1,084,885

	106年		
	未實現評價損益	外幣換算	總計
1月1日	$ 804,598	($ 14,014)	$ 790,584
評價-合併公司總額	(294,428)	-	(294,428)
評價-合併公司稅額	9,421	-	9,421
外幣換算差異數：			
-合併公司	-	(4,401)	(4,401)
-合併公司之稅額	-	748	748
-關聯企業	-	(1,061)	(1,061)
-關聯企業之稅額	-	181	181
6月30日	$ 519,591	($ 18,547)	$ 501,044

(十八)營業收入

	107年4月1日至6月30日
客戶合約收入：	
工程合約收入	$ 1,639,935
商品銷售收入	502,913
勞務合約收入	21,253
	$ 2,164,101

	107年1月1日至6月30日
客戶合約收入：	
工程合約收入	$ 3,065,366
商品銷售收入	985,327
勞務合約收入	49,325
	$ 4,100,018

1. 客戶合約收入之細分

本合併公司之收入源於提供隨時間逐步移轉及於某一時點移轉之商品及勞務，收入可細分為下列主要產品線及地理區域：

	台灣			中國	
107年4至6月	營造事業	建材事業	室內裝修設計	營造事業	合　計
部門收入	$ 1,565,035	$ 521,235	$ 106,009	$ 21,153	$ 2,213,432
內部部門交易之收入	(9,108)	(18,005)	(22,218)	-	(49,331)
外部客戶合約收入	$ 1,555,927	$ 503,230	$ 83,791	$ 21,153	$ 2,164,101
收入認列時點					
於某一時點認列之收入	$ 649	$ 500,504	$ 1,760	$ -	$ 502,913
隨時間逐步認列之收入	1,555,278	2,726	82,031	21,153	1,661,188
	$ 1,555,927	$ 503,230	$ 83,791	$ 21,153	$ 2,164,101

107年1至6月	台灣 營造事業	台灣 建材事業	台灣 室內裝修設計	中國 營造事業	合　計
部門收入	$ 2,890,392	$ 1,023,292	$ 237,343	$ 49,225	$ 4,200,252
內部部門交易之收入	(19,801)	(36,452)	(43,981)	-	(100,234)
外部客戶合約收入	$ 2,870,591	$ 986,840	$ 193,362	$ 49,225	$ 4,100,018
收入認列時點					
於某一時點認列之收入	$ 667	$ 982,055	$ 2,605	$ -	$ 985,327
隨時間逐步認列之收入	2,869,924	4,785	190,757	49,225	3,114,691
	$ 2,870,591	$ 986,840	$ 193,362	$ 49,225	$ 4,100,018

2. 合約資產及合約負債

本合併公司認列客戶合約收入相關之合約資產及合約負債如下:

	107年6月30日
合約資產:	
合約資產-工程合約	$ 366,002
合約負債:	
合約負債-工程合約	$ 602,908
合約負債-勞務合約	55,645
合約負債-建材銷售合約	11,038
合計	$ 669,591

3. 民國 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日營業收入之相關揭露請詳附註十二(六)2.及 3.。

(十九)營業成本

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
工程合約成本	$ 1,329,346	$ 1,138,131
商品銷售成本	454,047	505,343
勞務合約成本	11,802	9,025
	$ 1,795,195	$ 1,652,499
	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
工程合約成本	$ 2,558,264	$ 2,175,309
商品銷售成本	914,228	1,003,611
勞務合約成本	23,468	16,996
	$ 3,495,960	$ 3,195,916

(二十)其他收入

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
利息收入：		
銀行存款利息	$ 1,864	$ 1,700
按攤銷後成本衡量之金融資產利息收入	4,375	-
無活絡市場債務工具投資利息收入	-	4,375
利息收入合計	6,239	6,075
租金收入	513	1,209
壞帳轉回利益	-	(688)
其他收入	1,733	237
	$ 8,485	$ 6,833

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
利息收入：		
銀行存款利息	3,212	3,090
按攤銷後成本衡量之金融資產利息收入	8,750	-
無活絡市場債務工具投資利息收入	-	8,750
其他利息收入	-	300
利息收入合計	11,962	12,140
租金收入	1,040	1,732
壞帳轉回利益	-	101
其他收入	3,783	495
	$ 16,785	$ 14,468

(二十一)其他利益及損失

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
外幣兌換(損失)利益	($ 129)	$ 23
外幣評價利益	25	1,263
其他損失	(655)	(665)
	($ 759)	$ 621

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
外幣兌換利益(損失)	$ 316	($ 1,383)
外幣評價利益(損失)	12	(38)
其他損失	(2,479)	(1,011)
	($ 2,151)	($ 2,432)

(二十二)財務成本

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
利息費用：		
銀行借款	$ 4,189	$ 4,086

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
利息費用：		
銀行借款	$ 8,558	$ 8,295

(二十三)費用性質之額外資訊

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
本期進料及發包工程(含存貨之變動)	$ 1,420,831	$ 1,293,838
員工福利費用	265,443	248,049
貨物稅	53,554	57,907
水電費	50,311	48,331
不動產、廠房及設備折舊費用	48,528	46,389
無形資產攤銷及折耗費用	2,918	5,733
預期信用減損損失	479	-
其他費用	111,062	114,858
營業成本及營業費用	$ 1,953,126	$ 1,815,105

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
本期進料及發包工程(含存貨之變動)	$ 2,759,578	$ 2,452,764
員工福利費用	524,668	508,988
貨物稅	106,773	116,562
水電費	88,077	96,142
不動產、廠房及設備折舊費用	93,574	90,814
無形資產攤銷及折耗費用	7,100	12,539
預期信用減損損失	6,080	-
其他費用	231,303	246,428
營業成本及營業費用	$ 3,817,153	$ 3,524,237

(二十四)員工福利費用

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
薪資費用	$ 224,454	$ 212,173
勞健保費用	17,599	15,740
退休金費用	10,009	10,009
其他用人費用	13,381	10,127
	$ 265,443	$ 248,049
	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
薪資費用	$ 446,116	$ 430,453
勞健保費用	36,524	36,969
退休金費用	19,804	20,570
其他用人費用	22,224	20,996
	$ 524,668	$ 508,988

1. 依本公司章程規定，本公司依當年度獲利狀況扣除累積虧損後，如尚有餘額，應提撥員工酬勞至少 1%。

2. 本公司民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日員工酬勞估列金額分別為$1,860、$1,166、$2,575 及$2,335，前述金額帳列薪資費用科目。

   民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日係依截至當期止之獲利情況，以至少 1%估列。

   經董事會決議之民國 106 年度員工酬勞與民國 106 年度財務報告認列之員工酬勞$3,992 之金額一致。前一年度尚未實際配發。

   本公司董事會通過之員工酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

(二十五)所得稅

1. 所得稅費用

(1)所得稅費用組成部分：

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 42,168	$ 21,552
以前年度所得稅高估	(3,122)	(6,566)
當期所得稅總額	39,046	14,986
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	2,156	7,212
稅率改變之影響	1,104	-
遞延所得稅總額	3,260	7,212
所得稅費用	$ 42,306	$ 22,198

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	$ 56,808	$ 40,423
以前年度所得稅高估	(3,122)	(6,566)
當期所得稅總額	53,686	33,857
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	3,193	10,212
稅率改變之影響	(7,571)	-
遞延所得稅總額	(4,378)	10,212
所得稅費用	$ 49,308	$ 44,069

(2)與其他綜合損益相關之所得稅金額：

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產公允價值變動	$ 16,149	$ -
確定福利義務之再衡量數-稅率改變之影響	1,104	-
小計	17,253	-
備供出售金融資產公允價值變動	-	8,169
國外營運機構換算差額	(50)	(544)
小計	(50)	7,625
合計	$ 17,203	$ 7,625

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產公允價值變動	($ 10,683)	$ -
稅率改變之影響	1,508	-
	(9,175)	-
確定福利義務之再衡量數-稅率改變之影響	1,104	-
小計	(8,071)	-
備供出售金融資產公允價值變動	-	9,684
國外營運機構換算差額	(327)	929
稅率改變之影響	532	-
小計	205	10,613
合計	($ 7,866)	$ 10,613

2. 本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國 104 年度。

3. 因所得稅法修正案於民國 107 年 2 月 7 日公布生效，營利事業所得稅之稅率自 17%調增至 20%，此修正自民國 107 年度開始適用。本合併公司業已就此稅率變動評估相關之所得稅影響。

(二十六)每股盈餘

	107年4月1日至6月30日		
	稅後金額	期末流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 155,970	135,000	$ 1.16
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 155,970	135,000	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	67	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 155,970	135,067	$ 1.15

	106年4月1日至6月30日		
	稅後金額	期末流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 100,702	135,000	$ 0.75
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 100,702	135,000	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	52	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 100,702	135,052	$ 0.75

	107年1月1日至6月30日		
	稅後金額	期末流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 217,424	135,000	$ 1.61
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 217,424	135,000	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	116	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 217,424	135,116	$ 1.61

	106年1月1日至6月30日		
	稅後金額	期末流通在外股數(仟股)	每股盈餘(元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 197,619	135,000	$ 1.46
稀釋每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之本期淨利	$ 197,619	135,000	
具稀釋作用之潛在普通股之影響			
員工酬勞	-	129	
屬於母公司普通股股東之本期淨利加潛在普通股之影響	$ 197,619	135,129	$ 1.46

(二十七)營業租賃

1. 本合併公司以營業租賃承租辦公室及礦業用地，租賃期間至民國 114 年。租賃協議可於租期結束時重新續約。本合併公司民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日分別認列$8,896、$8,981、$17,769 及$17,788 之租金費用。另因不可取消合約之未來最低應付租賃給付總額如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
不超過1年	$ 37,909	$ 36,320	$ 35,930
超過1年但不超過5年	67,670	83,687	100,168
超過5年	583	738	149
	$ 106,162	$ 120,745	$ 136,247

2. 子公司承租花蓮縣秀林鄉克寶山段 26-1 等 4 筆國有礦地，業於民國 103 年 7 月 2 日及 104 年 7 月 2 日租約到期前申請續租，財政部國有財產署於民國 106 年 8 月 23 日發文補正申請續租事項，核定每公頃土地市價由$1,000 調升至$18,200，每月租金亦由每月$26 調漲至$472。子公司對土地市價追溯核定金額過大已提出異議，並依法提起行政訴訟程序，惟子公司仍依原合約金額估列入帳。

(二十八)現金流量補充資訊

1. 僅有部分現金支付之投資活動：

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
購置不動產、廠房及設	$ 137,253	$ 67,328
加：期初其他應付款	2,305	1,687
減：期末其他應付款	(4,855)	(1,728)
本期支付現金	$ 134,703	$ 67,287

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
購置無形資產	$ 4,257	$ 1,683
加：期初其他應付款	6,069	42,750
減：期末其他應付款	(645)	(39,963)
本期支付現金	$ 9,681	$ 4,470

2. 不影響現金流量之籌資活動：

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
本公司宣告現金股利尚未發放數	$ 317,250	$ 540,000
子公司宣告現金股利尚未發放予非控制權	75,757	100,400
	$ 393,007	$ 640,400

七、關係人交易

(一)母公司與最終控制者

本公司由潤泰資源整合股份有限公司控制，擁有本公司 53.99% 股份。本公司之最終母公司為潤泰創新國際股份有限公司。

(二)關係人之名稱及關係

關係人名稱	與本合併公司關係
潤泰創新國際股份有限公司(潤泰創新)	本合併公司之最終母公司
潤泰創新開發股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
潤泰百益股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
潤泰旭展股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
潤泰公寓大廈管理維護股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
潤泰保全股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
力勝開發股份有限公司	兄弟公司(本合併公司之最終母公司之子公司)
潤泰全球股份有限公司	其他關係人(對本合併公司之最終母公司採權益法認列之公司)
潤泰營造股份有限公司(潤泰營造)	其他關係人(本合併公司之管理階層為該公司之法人董事代表人)
匯弘投資股份有限公司	其他關係人(最終母公司之董事長為其法人董事代表人)
大潤發流通事業股份有限公司	其他關係人(最終母公司為該公司之法人監察人)
南山產物保險股份有限公司	其他關係人(最終母公司之關聯企業為該公司之控制公司)

關係人名稱	與本合併公司關係
尹書田醫療財團法人	其他關係人(最終母公司之關聯企業之法人董事)
南山人壽保險股份有限公司(南山人壽)	其他關係人(最終母公司之關聯企業為該公司之控制公司)
中裕新藥股份有限公司	其他關係人(本合併公司之最終母公司為該公司之法人董事)
興業建設股份有限公司	其他關係人(最終母公司之關聯企業之子公司)
潤華染織廠股份有限公司	其他關係人(本合併公司之管理階層為該公司之法人董事代表人)
宜泰投資股份有限公司	其他關係人(本合併公司之管理階層為該公司之法人董事代表人)
尹衍樑	其他關係人(本合併公司最終母公司法人董事代表人之配偶)
賴士勳	主要管理階層(本公司之董事長)
李志宏	主要管理階層(子公司之董事長)
董世寧	主要管理階層(本公司之總經理)(註)
丘惠生	主要管理階層(子公司之總經理)

註：董世寧已於民國 107 年 8 月 2 日辭任本公司總經理職務。

(三)與關係人間之重大交易事項

1.營業收入

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
工程承攬：		
一潤泰創新	$ 346,787	$ 395,818
一兄弟公司	16,481	29,499
一其他關係人	50,132	20,765
商品銷售：		
一最終母公司	170	44
一其他關係人	479	1,408
勞務銷售：		
一最終母公司	100	-
總計	$ 414,149	$ 447,534

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
工程承攬：		
一潤泰創新	$ 716,189	$ 697,737
一兄弟公司	43,553	33,787
一其他關係人	122,003	21,038
商品銷售：		
一最終母公司	188	44
一其他關係人	479	3,371
勞務銷售：		
一最終母公司	100	-
總計	$ 882,512	$ 755,977

工程承攬之合約價格及商品銷售價格係由雙方議價，並依據合約規定期限收取價款。

2. 應收關係人款項

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
應收票據：			
一潤泰創新	$ 77,615	$ 40,028	$ 2,633
一兄弟公司	2,583	13,349	-
一其他關係人	-	288	1,190
	80,198	53,665	3,823
應收帳款：			
一潤泰創新	148,020	320,507	438,098
一兄弟公司	16,993	12,023	6,676
一其他關係人	833	488	24,316
	165,846	333,018	469,090
其他應收款(註)：			
一南山人壽	288	9,038	288
一潤泰營造	616	-	134
	904	9,038	422
總計	$ 246,948	$ 395,721	$ 473,335

註：主係應收利息等。

3. 尚未完工之工程承攬及預收工程款

	107年6月30日	
	合約總價(未含稅)	已依工程進度請款金額
潤泰創新	$ 7,768,771	$ 5,774,710
兄弟公司	1,363,915	157,387
其他關係人	439,641	399,187
	$ 9,572,327	$ 6,331,284

	106年12月31日	
	合約總價(未含稅)	已依工程進度請款金額
潤泰創新	$ 7,930,215	$ 5,509,154
兄弟公司	103,409	52,536
其他關係人	503,016	307,415
	$ 8,536,640	$ 5,869,105

	106年6月30日	
	合約總價(未含稅)	已依工程進度請款金額
潤泰創新	$ 10,461,686	$ 6,649,673
兄弟公司	84,418	23,999
其他關係人	499,078	22,919
	$ 11,045,182	$ 6,696,591

4. 租金支出

本合併公司以營業租賃向關係人承租土地、倉庫及辦公室供營運使用，租賃期間為民國 102 年至 111 年。民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日認列之租金費用分別為$8,786、$8,326、$17,725 及$15,990。另因不可取消合約之未來最低應付租賃給付總額如下：

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
不超過1年	$ 28,649	$ 32,890	$ 23,925
超過1年但不超過5年	99,061	115,427	93,128
	$ 127,710	$ 148,317	$ 117,053

5. 關係人提供背書保證情形

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
主要管理階層及其他關係人	$ 4,600,000	$ 4,100,000	$ 467,000

6. 其他

子公司之土地包含部分農牧用地，惟受法令限制無法辦理產權登記，故於民國 98 年度、99 年度、104 年度及 107 年度取得之農牧用地登記予主要管理階層及其他關係人並設定抵押權予子公司，截至民國 107 年 6 月 30 日止，該農牧用地帳面值計$107,416，列於「不動產、廠房及設備」。

(四)主要管理階層薪酬資訊

	107年4月1日至6月30日	106年4月1日至6月30日
短期員工福利	$ 33,871	$ 37,863
退職後福利	721	652
總計	$ 34,592	$ 38,515

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
短期員工福利	$ 68,378	$ 75,645
退職後福利	1,371	1,303
離職福利	887	-
總計	$ 70,636	$ 76,948

八、質押之資產

本合併公司之資產提供擔保明細如下：

資產項目	帳面價值			擔保用途
	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日	
其他金融資產-流動(表列其他流動資產)	$ 353,332	$ 236,257	$ 247,254	業務承攬、工程履約保證金及保固等保證
土地(表列不動產、廠房及設備)	1,367,077	1,367,077	1,367,077	長短期借款及額度擔保
房屋及建築(表列不動產、廠房及設備)	284,884	296,317	307,585	長短期借款及額度擔保
以成本衡量之金融資產-非流動	-	40,233	40,233	短期借款額度擔保
	$ 2,005,293	$ 1,939,884	$ 1,962,149	

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

(一)或有事項

無此情形。

(二)承諾事項

1. 截至民國107年6月30日、106年12月31日及106年6月30日止，本合併公司為營造工程所簽訂之發包工程合約價款分別計$12,847,426、$12,349,938及$13,429,687，並已依約支付$9,119,627、$8,522,518及$10,177,895，餘款將依工程進度陸續支付。

2. 營業租賃協議

請詳附註六(二十七)及附註七。

3. 本合併公司已開立而尚未使用之信用狀金額如下：

幣別(仟元)	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
美元(USD)	$ -	$ 258	$ 2,275
歐元(EUR)	-	141	1,163
日元(JPY)	-	-	31,751

十、重大之災害損失

無此情形。

十一、重大之期後事項

無此情形。

十二、其他

(一)財務報表表達

民國 106 年第二季財務報表之部分科目表達業予重分類，俾與民國 107 年第二季財務報表附註比較。

(二)資本管理

本合併公司之資本管理目標，係為保障公司能繼續經營，維持最佳資本結構以降低資金成本，以支持正常營運及股東權益之極大化。

(三)金融工具

1. 金融工具之種類

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
金融資產			
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	$ 2,691,849	$ -	$ -
備供出售之金融資產-非流動	$ -	$ 1,988,531	$ 1,740,625
以成本衡量之金融資產-非流動	$ -	$ 236,063	$ 257,160
按攤銷後成本衡量之金融資產/放款及應收款			
現金及約當現金	$ 713,154	$ 394,258	$ 741,700
應收票據(含關係人)	314,757	219,751	149,750
應收帳款(含關係人)	935,160	1,227,873	1,388,881
其他應收款(含關係人)	3,904	13,424	6,017
按攤銷後成本衡量之金融資產	500,000	-	-
無活絡市場之債務工具投資-非流動	-	500,000	500,000
其他金融資產(表列「其他流動資產」)	353,332	236,257	247,254
存出保證金(表列「其他流動資產」及「其他非流動資產」)	85,022	36,326	34,641
	$ 2,905,329	$ 2,627,889	$ 3,068,243

	107年6月30日	106年12月31日	106年6月30日
金融負債			
按攤銷後成本衡量之金融負債			
短期借款	$ 170,000	$ 170,000	$ 170,000
應付短期票券	249,921	259,853	189,952
應付票據	306,764	374,161	247,122
應付帳款	989,968	1,026,708	1,170,035
其他應付款	668,060	379,153	1,077,008
長期借款	1,100,000	1,150,000	1,100,000
存入保證金(表列「其他非流動負債」)	32,883	38,623	38,639
	$ 3,517,596	$ 3,398,498	$ 3,992,756

2. 風險管理政策

本期無重大變動，請參閱民國 106 年度合併財務報表附註十二。

3. 重大財務風險之性質及程度

(1)市場風險

匯率風險

A. 本合併公司財務風險管理目標，係為管理與營運活動相關之匯率風險、利率風險、信用風險及流動性風險。為降低相關財務風險，本合併公司致力於辨認、評估並規避市場之不確定性，以降低市場變動合併對公司財務績效之潛在不利影響。

B. 本合併公司從事之業務涉及若干非功能性貨幣，故受匯率波動之影響，具重大匯率波動影響之外幣資產及負債資訊如下：

	107年6月30日					
				敏感度分析		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
金融資產						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	$ 18	30.46	$ 548	1%	$ 5	$ -
美　金：人民幣	209	6.6246	6,366	1%	64	-
非貨幣性項目						
人民幣：新台幣	8,419	4.5980	38,711	1%	-	387
金融負債						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	131	30.46	3,990	1%	40	-

	106年12月31日					
				敏感度分析		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
金融資產						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	$ 18	29.76	$ 536	1%	$ 5	$ -
美　金：人民幣	208	6.5120	6,190	1%	62	-
非貨幣性項目						
人民幣：新台幣	8,219	4.57	37,559	1%	-	376
金融負債						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	338	29.76	10,059	1%	101	-

	106年6月30日					
				敏感度分析		
	外幣(仟元)	匯率	帳面金額(新台幣)	變動幅度	影響損益	影響其他綜合損益
金融資產						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	$ 232	30.42	$ 7,057	1%	$ 71	$ -
非貨幣性項目						
人民幣：新台幣	7,458	4.4863	33,459	1%	-	335
金融負債						
貨幣性項目						
美　金：新台幣	165	30.42	5,019	1%	50	-

C. 本合併公司貨幣性項目因匯率波動具重大影響於民國 107 年及 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日暨 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日認列之兌換損益(含已實現及未實現)金額分別為損失$104、利益$1,286、利益$328 及損失$1,421。

價格風險

A. 本合併公司暴露於價格風險的權益工具，係所持有帳列於透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，及備供出售之金融資產。為管理權益工具投資之價格風險，本合併公司將其投資組合分散，其分散之方式係根據本合併公司設定之限額進行。

B. 本合併公司主要投資於國內公司發行之權益工具，此等權益工具之價格會因該投資標的未來價值之不確定性而受影響。若該等權益工具價格上升或下跌 1%，而其他所有因素維持不變之情況下，對民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日其他綜合損益因分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之利益或損失分別增加或減少$26,918 及$17,406。

現金流量及公允價值利率風險

A. 本合併公司之利率風險主要來自按浮動利率發行之長期借款，使本合併公司暴露於現金流量利率風險。於民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日，本合併公司按浮動利率發行之借款主要為新台幣計價。

B. 本合併公司之借款係採攤銷後成本衡量，依據合約約定每年利率會重新訂價，因此本合併公司暴露於未來市場利率變動之風險。

C. 當借款利率上升或下跌 0.1%，而其他所有因素維持不變之情況下，民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之稅後淨利將分別減少或增加$440 及$457，主要係因浮動利率借款導致利息費用隨之變動所致。

(2)信用風險

A. 本合併公司之信用風險係因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而導致本合併公司財務損失之風險，主要來自交易對手無法清償按收款條件支付之應收帳款，及分類為按攤銷後成本衡量合約現金流量。

B. 本合併公司係以合併公司角度建立信用風險之管理。對於往來之銀行及金融機構，設定僅有獲獨立信評等級至少為「A」級者，始可被接納為交易對象。依內部明定之授信政策，合併公司內各營運個體與每一新客戶於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須對其進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。個別風險之限額係董事會依內部或外部之評等而制訂，並定期監控信用額度之使用。

C. 本合併公司採用 IFRS 9 提供前提假設，當合約款項按約定之支付條款逾期超過 60 天，視為已發生違約。

D. 本合併公司用以判定債務工具投資為信用減損之指標如下：

(A)發行人發生重大財務困難，或將進入破產或其他財務重整之可能性大增；

(B)發行人由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；

(C)發行人延滯或不償付利息或本金；

(D)導致發行人違約有關之全國性或區域性經濟情況不利之變化。

E. 本合併公司按客戶類型之特性將對客戶之應收帳款分組，採用簡化作法以損失率法為基礎估計預期信用損失。

F. 本合併公司經追索程序後，對無法合理預期可回收金融資產之金額予以沖銷，惟本合併公司仍會持續進行追索之法律程序以保全債權之權利。

G. 本合併公司納入台灣經濟研究院景氣觀測報告對未來前瞻性的考量調整按特定期間歷史及現時資訊所建立之損失率，以估計應收帳款(含關係人)之備抵損失，民國 107 年 6 月 30 日之損失率法如下：

	個別	群組A	群組B	合計
107年6月30日				
預期損失率	100%	0.01%-0.03%	2.61%~100%	
帳面價值總額(含關係人)	$ 13,299	$ 861,278	$ 81,001	$ 955,578
備抵損失	13,299	103	7,016	20,418

群組 A：未有逾期超過 60 天付款客戶。
群組 B：曾有逾期超過 60 天付款客戶。

H. 本合併公司採簡化作法之應收帳款備抵損失變動表如下：

	107年1月1日至6月30日
	應收帳款
1月1日_IAS 39	$ 14,344
適用新準則調整	-
1月1日_IFRS 9	14,344
提列減損損失	7,252
減損損失迴轉	(1,172)
匯率影響數	(6)
6月30日	$ 20,418

I. 民國 106 年度及 106 年度第二季之信用風險資訊請詳附註十二(五)4 說明。

(3)流動性風險

A. 現金流量預測是由各營運個體執行，並由財務部予以彙總、監控流動資金需求並予預測，以確保各營運個體有足夠資金得以支應營運需要。

B. 各營運個體所持有之剩餘現金，在超過營運資金管理所需時，則將剩餘資金投資於附息之活期存款、定期存款及約當現金-附買回債券，其所選擇之工具具有適當之到期日或足夠流動性，以因應上述預測並提供充足之調度水位。

C. 下表係本合併公司之非衍生金融負債，按相關到期日予以分組，非衍生金融負債係依據資產負債表日至合約到期日之剩餘期間進行分析。下表所揭露之合約現金流量金額係未折現之金額。

非衍生金融負債:

107年6月30日	3個月以下	3個月至1年內	1年以上
短期借款	$ 170,000	$ -	$ -
應付短期票券(註)	250,000	-	-
應付票據	305,449	1,315	-
應付帳款	318,271	311,966	359,731
其他應付款	583,049	65,139	19,872
長期借款(註)	3,235	309,704	802,606

註：該金額包含預計未來支付之利息。

非衍生金融負債:

106年12月31日	3個月以下	3個月至1年內	1年以上
短期借款	$ 170,000	$ -	$ -
應付短期票券(註)	260,000	-	-
應付票據	363,077	11,084	-
應付帳款	363,905	274,553	388,250
其他應付款	359,032	5,121	15,000
長期借款(註)	3,386	10,158	1,158,366

註：該金額包含預計未來支付之利息。

非衍生金融負債:

106年6月30日	3個月以下	3個月至1年內	1年以上
短期借款	$ 170,000	$ -	$ -
應付短期票券(註)	190,000	-	-
應付票據	246,546	576	-
應付帳款	351,614	349,047	469,374
其他應付款	968,804	92,797	15,407
長期借款(註)	3,260	9,781	1,101,599

註：該金額包含預計未來支付之利息。

(四)公允價值資訊

1. 為衡量金融及非金融工具之公允價值所採用評價技術的各等級定義如下：

第一等級：企業於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。活絡市場係指有充分頻率及數量之資產或負債交易發生，以在持續基礎上提供定價資訊之市場。本合併公司投資之上市股票投資之公允價值皆屬之。

第二等級：資產或負債直接或間接之可觀察輸入值，但包括於第一等級之報價者除外。

第三等級：資產或負債之不可觀察輸入值。本合併公司之無活絡市場之權益工具投資皆屬之。

2. 本合併公司非以公允價值衡量之金融工具(包括現金及約當現金、應收票據(含關係人)、應收帳款(含關係人)、其他應收款(含關係人)、其他金融資產、應付票據、應付帳款、其他應付款及其他金融負債)的帳面

金額係公允價值之合理近似值。

3. 以公允價值衡量之金融工具，本合併公司依資產之性質、特性及風險及公允價值等級之基礎分類，相關資訊如下：

(1)本合併公司依資產及負債之性質分類，相關資訊如下：

107年6月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產				
權益證券	$2,411,882	$ -	$ 279,967	$2,691,849

106年12月31日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
備供出售之金融資產				
權益證券	$1,988,531	$ -	$ -	$1,988,531

106年6月30日	第一等級	第二等級	第三等級	合計
資產				
重複性公允價值				
備供出售之金融資產				
權益證券	$1,740,625	$ -	$ -	$1,740,625

(2)本合併公司用以衡量公允價值所使用之方法及假設說明如下：

A. 本合併公司於活絡市場交易之金融工具，其公允價值係依資產負債表日之市場報價衡量。本合併公司持有金融資產之市場報價為收盤價，該等工具係屬於第一等級。(第一等級之工具主要係權益工具，其分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產/備供出售金融資產。)

B. 除上述有活絡市場之金融工具外，其餘金融工具之公允價值係以評價技術或參考交易對手報價取得。透過評價技術所取得之公允價值可參照其他實質上條件及特性相似之金融工具之現時公允價值、現金流量折現法或以其他評價技術，包括以合併資產負債表日可取得之市場資訊運用模型計算而得。

C. 評價模型之產出係預估之概算值，而評價技術可能無法反映本合併公司持有金融工具及非金融工具之所有攸關因素。因此評價模型之預估值會適當地根據額外之參數予以調整，例如模型風險或流動性風險等。根據本合併公司之公允價值評價模型管理政策及相關之控制程序，管理階層相信為允當表達合併資產負債表中金融工具及非金融工具之公允價值，評價調整係屬適當且必要。在評價過程中所使用之價格資訊及參數係經審慎評估，且適當地根據目前市場狀況調整。

D. 本合併公司將信用風險評價調整納入金融工具及非金融工具公允價值計算考量，以分別反映交易對手信用風險及本合併公司信用品質。

4. 民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日無第一等級與第二等級間之任何移轉。

5. 民國 107 年及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日無自第三等級轉入及轉出之情形。

6. 有關屬第三等級公允價值衡量項目所使用評價模型之重大不可觀察輸入值之量化資訊及重大不可觀察輸入值變動之敏感度分析說明如下：

	107年6月30日 公允價值	評價技術	重大不可觀察 輸入值	區間 (加權平均)	輸入值與 公允價值關係
非衍生權益工具：					
非上市上櫃公司股票	$ 200,810	可類比上市上櫃公司法	缺乏市場流通性折價	19.66%	市場流通性折價愈高，公允價值愈低
非上市上櫃公司股票	79,157	可類比上市上櫃公司法	缺乏市場流通性折價	20.12%	市場流通性折價愈高，公允價值愈低

7. 本合併公司經審慎評估選擇採用之評價模型及評價參數，惟當使用不同之評價模型或評價參數可能導致評價之結果不同。針對分類為第三等級之金融資產，若評價參數變動，則對本期損益或其他綜合損益之影響如下：

			認列於其他綜合損益	
	輸入值	變動	有利變動	不利變動
金融資產				
權益工具	缺乏市場流通性折價	±1%	$ 2,800	($ 2,800)

(五)初次適用國際財務報導準則第 9 號之影響及民國 106 年度適用國際會計準則第 39 號之資訊

1. 民國 106 年度及 106 年第二季所採用之重大會計政策說明如下：

(1)備供出售金融資產

A. 係指定為備供出售或未被分類為任何其他類別之非衍生金融資產。

B. 本合併公司對於符合交易慣例之備供出售金融資產係採用交易日會計。

C. 於原始認列時按其公允價值加計交易成本衡量，續後按公允價值衡量，其公允價值之變動認列於其他綜合損益。對於持有無活絡市場公開報價之權益工具投資，或與此種無活絡市場公開報價權益工具連結且須以交付該等權益工具交割之衍生工具，當其公允價值無法可靠衡量時，本合併公司將其列報為「以成本衡量之金融資產」。

(2)放款及應收款

A.應收帳款

係屬原始產生之放款及應收款，係在正常營業過程中就商品銷售或服務提供所產生之應收客戶款項。於原始認列時按公允價值衡量，後續採有效利息法按攤銷後成本扣除減損後之金額衡量。惟屬未付息之短期應收帳款，因折現影響不重大，後續以原始發票金額衡量。

B.無活絡市場之債務工具投資

(A)係屬非原始產生之放款及應收款，無活絡市場公開報價，具固定或可決定收取金額之債券投資，且同時符合下列條件者：

a.未分類為透過損益按公允價值衡量。

b.未指定為備供出售。

c.未因信用惡化以外之因素，致持有人可能無法回收幾乎所有之原始投資。

(B)本合併公司對於符合交易慣例之無活絡市場之債務工具投資係採用交易日會計。

(C)於原始認列時按交易日之公允價值加計交易成本衡量，續後採用有效利息法按攤銷後成本減除減損後之金額衡量。有效利息法之折溢價攤銷認列於當期損益。

(3)金融資產減損

A.本合併公司於每一資產負債表日，評估是否已經存在減損之任何客觀證據，顯示某一或一組金融資產於原始認列後發生一項或多項事項（即「損失事項」），且該損失事項對一金融資產或一組金融資產之估計未來現金流量具有能可靠估計之影響。

B.本合併公司用以決定是否存在減損損失之客觀證據的政策如下：

(A)發行人或債務人之重大財務困難；

(B)違約，諸如利息或本金支付之延滯或不償付；

(C)本合併公司因與債務人財務困難相關之經濟或法律理由，給予債務人原不可能考量之讓步；

(D)債務人將進入破產或其他財務重整之可能性大增；

(E)由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；

(F)可觀察到之資料顯示，一組金融資產之估計未來現金流量於該等資產原始認列後發生可衡量之減少，雖然該減少尚無法認定係屬該組中之某個別金融資產，該等資料包括該組金融資產之債務人償付狀況之不利變化，或與該組金融資產中資產違約有關之全國性或區域性經濟情況；

(G)發行人所處營運之技術、市場、經濟或法令環境中所發生具不利影響之重大改變的資訊，且該證據顯示可能無法收回該權益投資之投資成本；或

(H)權益工具投資之公允價值大幅或持久性下跌至低於成本。

C. 本合併公司經評估當已存在減損之客觀證據，且已發生減損損失時，按以下各類別處理：

(A)以攤銷後成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按該金融資產原始有效利率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。當後續期間減損損失金額減少，且該減少能客觀地與認列減損後發生之事項相連結，則先前認列之減損損失在未認列減損情況下於迴轉日應有之攤銷後成本之限額內於當期損益迴轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(B)以成本衡量之金融資產

係以該資產帳面金額與估計未來現金流量按類似金融資產之現時市場報酬率折現之現值間之差額，認列減損損失於當期損益。此類減損損失續後不得迴轉。認列減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

(C)備供出售金融資產

係以該資產之取得成本(減除任何已償付之本金及攤銷數)與現時公允價值間之差額，再減除該金融資產先前列入損益之減損損失，自其他綜合損益重分類至當期損益。屬債務工具投資者，當其公允價值於後續期間增加，且該增加能客觀地連結至減損損失認列後發生之事項，則該減損損失於當期損益迴轉。屬權益工具投資者，其已認列於損益之減損損失不得透過當期損益迴轉。認列及迴轉減損損失之金額係藉由備抵帳戶調整資產之帳面金額。

2. 金融資產帳面價值自民國 106 年 12 月 31 日依據 IAS 39 編製轉換至民國 107 年 1 月 1 日依據 IFRS 9 編製之調節如下：

	備供出售－權益	持有至到期日				影響	
	透過其他綜合損益按公允價值衡量－權益	按攤銷後成本衡量	以成本衡量	無活債市場債務工具	合計	未分配盈餘	其他權益
IAS39	$ 1,988,531	$ -	$ 236,063	$ 500,000	$ 2,724,594	$ -	$ -
轉入透過其他綜合損益按公允價值衡量－權益	236,063	-	(236,063)	-	-	-	-
轉入按攤銷後成本衡量	-	500,000	-	(500,000)	-	-	-
公允價值調整數	43,904	-	-	-	43,904	-	43,904
減損損失調整數	-	-	-	-	-	50,261	(50,261)
所得稅調整數	-	-	-	-	-	(8,544)	8,544
IFRS9	$ 2,268,498	$ 500,000	$ -	$ -	$ 2,768,498	$ 41,717	$ 2,187

說明：

(1)於 IAS 39 分類為「備供出售金融資產及以成本衡量金融資產」之權益工具計$1,988,531 及$236,063，因本合併公司非以交易目的所持有，因此於初次適用 IFRS 9 時，選擇將其分類為「透過其他綜合損

益按公允價值衡量之金融資產(權益工具)」調增$2,268,498，調增其他權益-透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益$733,355，並調減其他權益-備供出售金融資產未實現損益$689,451。

(2)於 IAS 39 分類為「無活絡市場債務工具」之債務工具計$500,000，因有符合現金流量完全為支付本金及流通在外本金金額之利息條件，且本公司持有係為收取現金流量，因此於初次適用 IFRS 9 時，分類為「按攤銷後成本衡量之金融資產」調增$500,000。

(3)本公司依據 IFRS 9 規定提列減損損失，調減其他權益-透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現損益$41,717，並調增未分配盈餘$41,717。

3.民國 106 年 12 月 31 日及民國 106 年 6 月 30 日之重要會計項目之說明如下：

(1)備供出售金融資產

項目	106年12月31日	106年6月30日
非流動項目：		
上市櫃公司股票	$ 1,379,464	$ 1,306,010
評價調整	609,067	434,615
合計	$ 1,988,531	$ 1,740,625

A.本合併公司於民國 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日因公允價值變動認列於其他綜合損益之金額分別為損失$127,887 及$300,278。

B.本合併公司所持有之備供出售金融資產未有提供質押之情況。

(2)以成本衡量之金融資產

項目	106年12月31日	106年6月30日
非流動項目：		
寶德能源科技股份有限公司	$ 241,144	$ 241,144
大買家股份有限公司	45,180	45,180
累計減損	(50,261)	(29,164)
合計	$ 236,063	$ 257,160

A.本公司持有之非上市櫃公司股票投資依據投資之意圖應分類為備供出售金融資產，惟因該標的非於活絡市場公開交易，且無法取得足夠之類似公司之產業資訊及被投資公司之相關財務資訊，因此無法合理可靠衡量其公允價值，故分類為「以成本衡量之金融資產」。

B.本公司於民國 106 年 5 月參與寶德能源科技股份有限公司現金增資計 16,391,908 股，金額計$49,175。

C.本公司所持有之寶德能源科技股份有限公司因持續虧損，該公司於民國 106 年 12 月通過臨時股東會減資彌補虧損，經評估後，於民國 106 年 12 月認列減損損失計$21,097，截至民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日止，已提列之累計減損分別計$50,261 及$29,164。

D.本公司民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日以成本衡量之金融資產提供質押之情況，請詳附註八之說明。

(3)無活絡市場之債務工具投資

項　　目	106年12月31日	106年6月30日
非流動項目：		
次順位公司債	$ 500,000	$ 500,000

A.本公司於民國 106 年 4 月 1 日至 6 月 30 日及 106 年 1 月 1 日至 6 月 30 日因攤銷後成本認列於當期損益之利息收入分別為 $4,375 及$8,750。

B.本公司投資之對象之信用品質良好。

C.本公司所持有之無活絡市場之債務工具投資未有提供質押之情況。

(4)應收票據及帳款

	106年12月31日	106年6月30日
應收票據	$ 166,086	$ 145,927
應收帳款	909,199	927,417
減：備抵呆帳	(14,344)	(7,626)
	$ 1,060,941	$ 1,065,718

A.潤泰精材於接受客戶訂購後即開立發票及提貨單交予買受人，並借記應收帳款、貸記預收貨款，並於收到客戶開立之票據後將帳款轉票據；客戶就需求依提貨單分批提領水泥，於實際提領水泥時再將預收貨款轉列收入。為避免虛增資產及負債，潤泰精材將尚未提領水泥之應收票據及帳款與預收貨款科目互相抵銷，民國 106 年 12 月 31 日及 6 月 30 日金額分別為$74,766 及$87,305，並以抵銷後之淨額表達。

B.應收帳款之信用品質風險，請詳附註十二(五)4 之說明。

4.民國 106 年 12 月 31 日及 106 年 6 月 30 日之信用風險資訊說明如下：

(1)信用風險係本合併公司因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而產生財務損失之風險。本合併公司依內部明定之授信政策，各營運個體於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須就其每一新客戶進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。個別風險之限額係董事會依內部或外部之評等而制訂，並定期監控信用額度之使用。主要信用風險來自現金及約當現金、衍生金融工具，及存放於銀行與金融機構之存款，並包括尚未收現之應收帳款及已承諾之交易。

(2)於民國 106 年度及 106 年第二季，並無超出信用限額之情事，且管理階層不預期會受交易對手之不履約而產生任何重大損失。

(3)本合併公司未逾期且未減損且符合依據本合併公司授信標準信用品質之應收帳款(含關係人)資訊如下：

	106年12月31日	
	群組1	群組2
應收帳款(含關係人)	$ 894,385	$ 321,768

	106年6月30日	
	群組1	群組2
應收帳款(含關係人)	$ 1,104,725	$ 280,207

群組 1：對關聯企業，或承攬公共工程所產生之應收帳款，或有極強之履行財務能力。

群組 2：對非關聯企業，或承攬廠辦大樓或一般住宅所產生之應收帳款，或有普通之履行財務能力。

(4)本合併公司已逾期但未減損金融資產之帳齡分析如下：

	106年12月31日	106年6月30日
應收帳款		
30天內	$ 10,301	$ 1,979
31-60天	477	960
61-90天	942	755
181天以上	-	255
	$ 11,720	$ 3,949

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

(5)本合併公司已減損金融資產之變動分析：

A.截至民國106年12月31日及106年6月30日止，本合併公司已減損之應收帳款金額分別為$14,344及$7,626。

B.備抵呆帳變動表如下：

	106年度		
	個別評估之減損損失	群組評估之減損損失	合計
1月1日	$ 4,453	$ 3,274	$ 7,727
提列減損損失	7,198	2,008	9,206
減損損失迴轉	(2,500)	-	(2,500)
因無法收回而沖銷之款項	(88)	(79)	(167)
淨兌換差額	78	-	78
12月31日	$ 9,141	$ 5,203	$14,344

	106年1月1日至6月30日		
	個別評估之減損損失	群組評估之減損損失	合計
1月1日	$ 4,453	$ 3,274	$ 7,727
提列減損損失	-	1,487	1,487
減損損失迴轉	(1,588)	-	(1,588)
6月30日	$ 2,865	$ 4,761	$ 7,626

(六)初次適用國際財務報導準則第15號之影響及民國106年度適用國際會計準則第11號與國際會計準則第18號之資訊

1. 民國106年度及106年第二季所採用之收入認列重大會計政策說明如下：

(1)銷貨收入

本合併公司製造並銷售水泥建材相關產品。收入係正常營業活動中對合併公司外顧客銷售商品已收或應收對價之公允價值，以扣除增值稅、銷貨退回、數量折扣及折讓之淨額表達。商品銷售於商品交付予買方、銷貨金額能可靠衡量且未來經濟效益很有可能流入企業時認列收入。當與所有權相關之重大風險與報酬已移轉予顧客，本合併公司對商品既不持續參與管理亦未維持有效控制且顧客根據銷售合約接受商品，或有客觀證據顯示所有接受條款均已符合時，商品交付方屬發生。

(2)建造合約

A. 依國際會計準則第11號「建造合約」之定義，建造合約係指為建造一項資產而特別議定之合約。當建造合約之結果能可靠估計，且該合約很有可能獲利時，採完工百分比法於合約期間按合約完成程度認列合約收入，合約成本於發生之期間認列為費用。完成程度參照每份合約至報導期間結束日已發生之合約成本，占該合約之估計總成本之百分比計算。當總合約成本很可能超過總合約收入時，立即將預期損失認列為費用。當建造合約之結果無法可靠估計時，僅在已發生合約成本很有可能回收之範圍內認列合約收入。

B. 合約工作之變更、求償及獎勵金就客戶已同意且能可靠衡量之範圍包括於合約收入中。

C. 本合併公司對因合約工作應向客戶收取之帳款總額，即在建合約中已發生成本加計已認列利潤（減除已認列損失）超過工程進度請款金額部分，表達為資產，帳列應收建造合約款。若在建合約中工程進度請款金額超過已發生成本加已認列利潤（減除已認列損失）之合計數，表達為負債，帳列應付建造合約款。

2. 本合併公司於民國106年第二季適用前述會計政策所認列之收入如下：

	106年4月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
工程合約收入	$ 1,381,443	$ 2,655,695
銷貨收入	554,190	1,096,239
勞務收入	19,286	39,373
合計	$ 1,954,919	$ 3,791,307

3. 本合併公司於民國 106 年 12 月 31 日及 106 年 6 月 30 日適用前述建造合約會計政策所認列之應收/應付建造合約款如下:

	106年12月31日	106年6月30日
已發生之總成本及已認列之利潤(減除已認列之損失)	$ 12,796,108	$ 15,340,863
減:工程進度請款金額	(12,699,259)	(15,219,691)
進行中合約淨資產負債狀況	$ 96,849	$ 121,172
列報為:		
應收建造合約款	$ 480,625	$ 518,695
應付建造合約款	(383,776)	(397,523)
	$ 96,849	$ 121,172

民國 106 年 12 月 31 日及 106 年 6 月 30 日,建造合約相關之工程保留款(含關係人) 金額(列於「應收款項」及「應收款項-關係人」)分別為 $640,394 及$839,695。

4. 本合併公司若於民國 107 年第二季繼續適用上述會計政策,對本期資產負債表之影響數及說明如下:

合併資產負債表項目	說明	107年6月30日 採IFRS 15認列之餘額	107年6月30日 採原會計政策認列之餘額	107年6月30日 會計政策改變之影響數
合約資產	(1)	$ 366,002	$ -	$ 366,002
應收建造合約款	(1)	-	366,002	(366,002)
合約負債	(2)(3)	(669,591)	-	(669,591)
應付建造合約款	(2)	-	(602,908)	602,908
其他流動負債	(3)	(7,349)	(74,032)	66,683
合計		($ 310,938)	($ 310,938)	$ -

說明:

(1)依據 IFRS 15 之規定,認列與工程合約相關之合約資產,在過去報導期間於資產負債表上表達為應收建造合約款。

(2)依據 IFRS 15 之規定,認列與工程合約相關之合約負債,在過去報導期間於資產負債表上表達為應付建造合約款。

(3)依據 IFRS 15 之規定,認列與建材銷售合約及勞務合約相關之合約負債,在過去報導期間於資產負債表上表達為其他流動負債(預收款項)。

十三、附註揭露事項

(一)重大交易事項相關資訊

1.資金貸與他人情形：無此情形。

2.為他人背書保證：請詳附表一。

3.期末持有有價證券情形(不包含投資子公司及關聯企業)：請詳附表二。

4.累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無此情形。

5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無此情形。

6.處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無此情形。

7.與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳附表三。

8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：請詳附表四。

9.從事衍生性金融商品交易：無此情形。

10.母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：交易金額達10,000仟元者，予以揭露；另以資產面及收入面為揭露方式，請詳附表五。

(二)轉投資事業相關資訊

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊(不包含大陸被投資公司)：請詳附表六。

(三)大陸投資資訊

1.基本資料：請詳附表七。

2.直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大交易事項：請詳附表五。

十四、部門資訊

(一)一般性資訊

本合併公司管理階層已依據董事會於制定決策所使用之報導資訊辨認應報導部門。本合併公司目前著重於營造事業部、建材事業部及室內裝修設計部等業務。

(二)部門損益、資產與負債之資訊

提供予主要營運決策者之應報導部門資訊如下：

107年1月1日至6月30日	營造事業部	建材事業部	室內裝修設計部	合計
外部收入	$2,919,816	$ 986,840	$ 193,362	$4,100,018
內部部門收入	19,801	36,452	43,981	100,234
部門收入	$2,939,617	$1,023,292	$ 237,343	$4,200,252
應報導部門營業淨利益	$ 226,621	$ 30,176	$ 24,281	$ 281,078

106年1月1日至6月30日	營造事業部	建材事業部	室內裝修設計部	合計
外部收入	$2,466,265	$1,086,091	$ 238,951	$3,791,307
內部部門收入	16,830	26,735	9,976	53,541
部門收入	$2,483,095	$1,112,826	$ 248,927	$3,844,848
應報導部門營業淨利益	$ 197,685	$ 42,148	$ 25,553	$ 265,386

(三)部門損益之調節資訊

1. 本合併公司營運部門間之銷售係由雙方議價而定，向營運決策者呈報之外部收入及損益表內之收入採用一致之衡量方式。
2. 應報導營運部門損益與繼續營業部門損益調節如下：

	107年1月1日至6月30日	106年1月1日至6月30日
應報導部門營業淨利益	$ 281,078	$ 265,386
調整及沖銷	1,787	1,684
合計	282,865	267,070
利息收入	11,962	12,140
兌換利益(損失)	328	(1,421)
財務成本	(8,558)	(8,295)
其他	2,664	1,307
繼續營業部門稅前損益	$ 289,261	$ 270,801

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

為他人背書保證

民國107年1月1日至6月30日

附表一

單位：新台幣仟元

編號（註1）	背書保證者公司名稱	被背書保證對象 公司名稱	被背書保證對象 關係（註2）	對單一企業背書保證限額（註3）	本期最高背書保證餘額（註4）	期末背書保證餘額（註5）	實際動支金額（註6）	以財產擔保之背書保證金額	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率	背書保證最高限額（註3）	屬母公司對子公司背書保證（註7）	屬子公司對母公司背書保證（註7）	屬對大陸地區背書保證（註7）	備註
0	潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰精密材料(股)公司	1	$ 675,000	$ 31,254	$ 31,254	$ 31,254	$ -	0.77	$ 1,350,000	Y	N	N	

註1：編號欄之說明如下：
(1).發行人填0。
(2).被投資公司按公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。
註2：背書保證者與被背書保證對象之關係有下列六種，標示種類即可：
(1).有業務往來之公司。
(2).公司直接及間接持有表決權之股份超過百分之五十之公司。
(3).直接及間接對公司持有表決權之股份超過百分之五十之公司。
(4).公司直接及間接持有表決權股份達百分之九十以上之公司間。
(5).基於承攬工程需要之同業間或共同起造人間依合約規定互保之公司。
(6).因共同投資關係由全體出資股東依其持股比率對其背書保證之公司。
(7).同業間依消費者保護法規範從事預售屋銷售合約之履約保證連帶擔保。
註3：應填列公司依為他人背書保證作業程序，所訂定對個別對象背書保證之限額及背書保證最高限額，並於備註欄說明背書保證個別對象及總限額之計算方法。
註4：當年度為他人背書保證之最高餘額。
註5：應填列董事會通過之金額。但董事會依公開發行公司資金貸與及背書保證處理準則第十二條第八款授權董事長決行者，係指董事長決行之金額。
註6：應輸入被背書保證公司於使用背書保證餘額範圍內之實際動支金額。
註7：屬上市櫃母公司對子公司背書保證者、屬子公司對上市櫃母公司背書保證者、屬大陸地區背書證者始須填列Y。

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）

民國107年6月30日

附表二

單位：新台幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱（註）	與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末 股數	期末 帳面金額	期末 持股比例	期末 公允價值	備註
潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰創新國際(股)公司股票	本公司為該公司之孫公司	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	5,710,440	$ 201,008	0.34	$ 201,008	
潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰全球(股)公司股票	對本公司之最終母公司採權益法認列之公司	〃	33,586,339	2,089,070	3.57	2,089,070	
潤弘精密工程事業(股)公司	台灣浩鼎生技(股)公司股票	最終母公司之關聯企業之監察人為該公司之法人董事代表人	〃	220,000	34,320	0.13	34,320	
潤弘精密工程事業(股)公司	大買家(股)公司股票	－	〃	4,267,233	79,157	2.51	79,157	
潤弘精密工程事業(股)公司	寶德能源科技(股)公司股票	－	〃	19,737,629	200,810	1.50	200,810	
潤弘精密工程事業(股)公司	南山人壽次順位公司債	最終母公司之關聯企業為該公司之控制公司	按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動	－	500,000	－	－	
潤泰精密材料(股)公司	潤泰全球(股)公司股票	對本公司之最終母公司採權益法認列之公司	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	63,124	3,926	－	3,926	
潤泰精密材料(股)公司	台灣浩鼎生技(股)公司股票	最終母公司之關聯企業之監察人為該公司之法人董事代表人	〃	99,000	15,444	0.06	15,444	
潤德室內裝修設計工程(股)公司	潤泰全球(股)公司股票	對本公司之最終母公司採權益法認列之公司	〃	1,095,075	68,114	0.12	68,114	

註：本表所稱有價證券，係指屬國際財務報導準則第9號「金融工具」範圍內之股票、債券、受益憑證及上述項目所衍生之有價證券。

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國107年1月1日至6月30日

附表三

單位：新台幣仟元

進（銷）貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形				交易條件與一般交易不同之情形及原因		應收（付）票據、帳款		備註
			進（銷）貨	金額	佔總進（銷）貨之比率(註)	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收（付）票據、帳款之比率(註)	
潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰創新國際(股)公司	該公司為本公司之最終母公司	銷貨	$ 676,594	23.57	依工程合約規定期限收取價款	議價	依工程合約規定期限收取價款	$ 200,536	26.07	

註：係按進銷貨之公司個體角度計算。

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國107年6月30日

附表四

單位：新台幣仟元

帳列應收款項之公司	交易對象名稱	關係	應收關係人款項餘額	週轉率	逾期應收關係人款項		應收關係人款項期後收回金額	提列備抵呆帳金額
					金額	處理方式		
潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰創新國際(股)公司	本公司為該公司之孫公司	$ 200,536	5.61	$ -	-	$ 76,932	$ -

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國107年1月1日至6月30日

附表五

單位：新台幣仟元

編號(註1)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註2)	交易往來情形			
				科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率(註3)
0	潤弘精密工程事業(股)公司	潤鑄建築工程(上海)有限公司	1	勞務收入	$ 14,821	按一般交易條件處理	0.36%
		潤鑄建築工程(上海)有限公司	1	應收帳款	10,465	按一般交易條件處理	0.10%
		潤泰精密材料(股)公司	1	其他應收款	48,847	註4	0.49%
		潤德室內裝修設計工程(股)公司	1	預付貨款	11,609	按一般交易條件處理	0.12%
1	潤泰精密材料(股)公司	潤弘精密工程事業(股)公司	2	銷貨收入	29,922	按一般交易條件處理	0.73%
2	潤德室內裝修設計工程(股)公司	潤弘精密工程事業(股)公司	2	銷貨收入	43,981	按一般交易條件處理	1.07%
		潤弘精密工程事業(股)公司	2	應收帳款	13,421	按一般交易條件處理	0.13%

註1：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：
(1).母公司填0。
(2).子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註2：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可(若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易，則無須重複揭露。如：母公司對子公司之交易，若母公司已揭露，則子公司部分無須重複揭露；子公司對子公司之交易，若其一子公司已揭露，則另一子公司無須重複揭露)：
(1).母公司對子公司。
(2).子公司對母公司。
(3).子公司對子公司。

註3：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債項目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益項目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。

註4：主係應收股利。

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）

民國107年1月1日至6月30日

附表六

單位：新台幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額 本期期末	原始投資金額 去年年底	期末持有 股數	期末持有 比率	期末持有 帳面金額	被投資公司本期損益	本期認列之投資損益	備註
潤弘精密工程事業(股)公司	潤泰精密材料(股)公司	台灣	建材生產與經銷	$ 587,269	$ 587,269	58,726,917	39.15	$ 880,581	$ 37,025	$ 14,496	
潤弘精密工程事業(股)公司	潤陽營造(股)公司	台灣	土木建築工程	5,408	5,408	600,000	100.00	11,049	843	843	
潤弘精密工程事業(股)公司	Wide Profit International Holding Ltd	香港	一般投資事業	45,819	45,819	1,948,193	7.50	38,711	4,269	320	
潤泰精密材料(股)公司	潤德室內裝修設計工程(股)公司	台灣	室內裝潢與庭園綠化設計及施工	140,571	140,571	3,000,000	100.00	131,398	19,601	19,601	

潤弘精密工程事業股份有限公司及子公司

大陸投資資訊－基本資料

民國107年1月1日至6月30日

附表七

單位：新台幣仟元

大陸被投資公司名稱	主要營業項目	實收資本額	投資方式（註1）	本期期初自台灣匯出累積投資金額	本期匯出或收回投資金額 匯出	本期匯出或收回投資金額 收回	本期期末自台灣匯出累積投資金額	被投資公司本期損益	本公司直接或間接投資之持股比例	本期認列投資損益（註2(2)C）	期末投資帳面金額	截至本期止已匯回投資收益	備註
潤鑄建築工程(上海)有限公司	建築工程技術諮詢及服務	$ 158,392	1	$ 158,392	$ -	$ -	$ 158,392	$ 6,827	100.00	$ 6,827	$ 149,443	$ -	

公司名稱	本期期末累計自台灣匯出赴大陸地區投資金額	經濟部投審會核准投資金額	依經濟部投審會規定赴大陸地區投資限額
潤弘精密工程事業(股)公司	$ 158,392	$ 158,392	$ 3,266,813

註1：投資方式區分為下列三種，標示種類別即可：

(1).直接赴大陸地區從事投資

(2).透過第三地區公司再投資大陸(請註明該第三地區之投資公司)

(3).其他方式

註2：本期認列投資損益欄中：

(1)若屬籌備中，尚無投資損益者，應予註明

(2)投資損益認列基礎分為下列三種，應予註明

A.經與中華民國會計師事務所有合作關係之國際性會計師事務所核閱簽證之財務報告

B.經台灣母公司簽證會計師核閱簽證之財務報告

C.依據被投資公司同期自編未經會計師核閱之財務報告評價而得。

註3：本表相關數字應以新臺幣列示。